

平成26年度

青少年会議報告書



平成27年2月

狛江市青少年問題協議会
狛 江 市

目 次

青少年会議とは	1 P
青少年会議研修会について	2 P
第1回青少年会議について	3 P
第2回青少年会議について	8 P
第3回青少年会議について	14 P
第4回青少年会議について	19 P
第5回青少年会議について	25 P
第6回青少年会議について	28 P
第7回青少年会議について	35 P
第7回青少年会議つづきについて	36 P
青少年会議報告会	37 P
青少年会議に参加してのアンケート	68 P
会議開催日及び主な内容	71 P
青少年会議のメンバー	73 P
報告会アンケート集計結果	74 P

青少年会議とは

狛江市青少年会議は、平成 20 年度より隔年で開催し、青少年自身の意志や意欲を尊重した自主的・主体的な活動を促進し、狛江のまちづくりへの関心を高めることで次世代の市の担い手を育成することを目的として、狛江市と狛江市青少年問題協議会の共催で会議を行っています。

狛江市次世代育成支援行動計画では、青少年の意見の表明の場として概ね 12～18 歳の青少年で構成する青少年会議の運営を通じ、青少年施策の反映を図ること、また青少年自身の意志や意欲を尊重した自主的・主体的な活動を促進することが謳われています。

今回の青少年会議は、市内の中学生 11 名と前回の青少年会議参加ＯＢとサポーター 11 名の計 22 名で構成され、そのメンバーで平成 26 年 8 月の研修会を始めに、9 月から平成 27 年 2 月まで会議を行いました。

平成 27 年 3 月には青少年会議の報告会を行い、2 つのグループに分かれて「中高生の居場所づくり」をテーマに、各グループで議論を重ねた内容を発表しました。グループの発表後には他グループの中学生から質疑応答を受け、最後には来場者からも感想をいただきました。

中学生が提案した内容については、市の今後の施策として実施可能かどうか検討を進めていきます。

それでは、今回の青少年会議の活動の詳細について次ページより報告いたします。

青少年会議研修会について

○ 日時：平成 26 年 8 月 26 日（火）午前 9 時 30 分～11 時 10 分

○ 場所：高架下 103・104 会議室

○ 主な研修会内容

◇会議開催挨拶

児童青少年課長

◇青少年会議の目的について説明

・青少年会議の目的

1. 中学生の社会に対する意志や意欲を高めることで、自主的・主体的に活動していくことができるようにする。
2. さまざまな年齢の人と交流することで、今までとは違った考え方や見方を学び、豊かな心を育てる。
3. この場で出た意見を、狛江市のまちづくりへ活かしていくことができるようにする。

・研修会の目的

テーマについて考えていく前に、狛江市の中で中高生に向けた事業にどんなものがあるか知ってもらうこと。

◇自己紹介

中学生、サポーター、見学者より行う。

◇テーマの説明

「中高生の居場所づくり」

◇児童館の紹介

岩戸児童センター長の日下美恵子様より行う。説明後、中学生より質疑応答を受ける。

◇青少年育成委員会の紹介

青少年第二育成委員会の篠浩司様より行う。説明後、中学生より質疑応答を受ける。

◇青少年委員の紹介

青少年委員の会議委員長の千代真理子様より行う。説明後、中学生より質疑応答を受ける。

◇その他事業の紹介

KoKoA、公民館、スポーツ促進活動、地域センター・地区センター等について説明を行う。説明後、中学生より質疑応答を受ける。



第1回青少年会議について

- 日時：平成26年9月7日（日）午前10時～午後0時10分
- 場所：防災センター302・303 会議室
- 青少年会議の目的
 - ・ 青少年の社会参加意識を向上し、主体的な活動を促進する。
 - ・ 異年齢の人と交流し、青少年の見地を広げ、豊かな心を育成する。
 - ・ テーマについて議論した結果を、中学生から市長へ報告する。
 - ・ 狛江のまちづくりへの関心を高め、次世代からの市の担い手を育成する。
- 主な会議内容
 - ◇ 会議開催挨拶
青少年問題協議会副会長
 - ◇ 会議の概要を説明
 - ・ 青少年の主体的な活動を促進する。
 - ・ 青少年の視点から中高生の居場所づくりについて提案する。
 - ・ 報告会を平成27年2月に防災センター会議室にて行う。
 - ◇ ファシリテーター（大場）自己紹介
 - ◇ アイスブレイク
 - ・ バースデイトライン（誕生日の一番早い順に並び）



◇ チームづくり（アイスブレイク後の並び順）

以下に決まる。

チーム	中学生	サポーター
1	荒井千香子（一中2年）、佐々木彩乃（三中2年）、川崎ナナミ（四中2年）	千代眞理子、小林淳史、杉本綾亨
2	藤田芳（二中2年）、山崎航輔（三中2年）、高田友希子（四中2年）、小林拓未（四中2年）	三角久美子、高野翔太、石賀咲葵

◇キャンプネーム

（米国の野外教育の現場で考え出されたもの。人種が多様な米国では名前によって出身地や人種がわかることがあり、野外活動の場で子どもたちに人種差別が起こらないようにと、つけられた。日本では、同じキャンプ等に参加した者は仲間である、という意識を持つために、お互いを認識するためのニックネームとして使用している。）

個人で考え、全体で発表する。

◇グループの名前

以下に決まる。

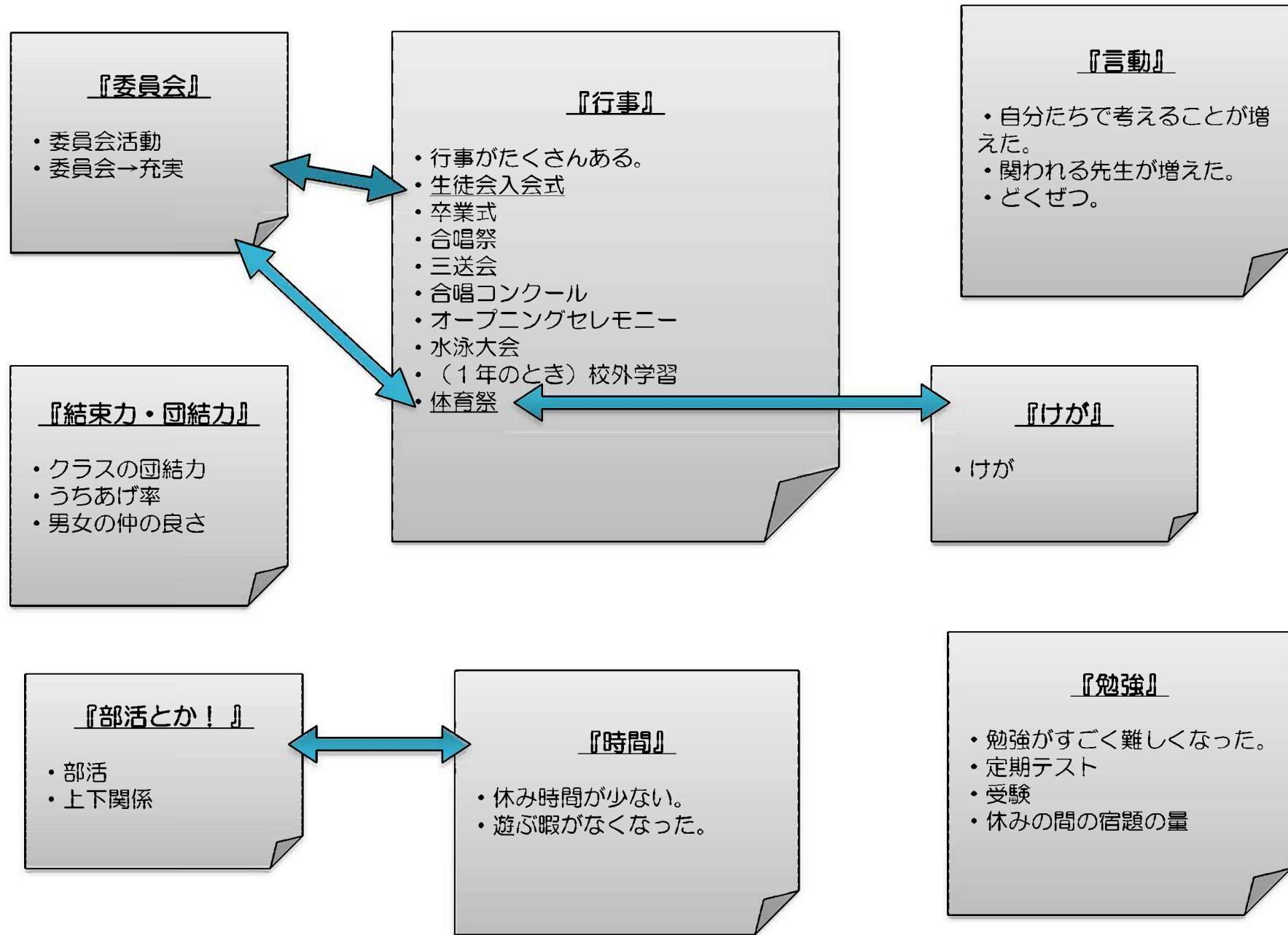
チーム	名前
1	アメリカンパンサー★
2	こまえっしー

◇ワークショップ

- ・KJ法（データをカードに記述し、カードをグループごとにまとめて、図解し論文等にまとめる手法）やブレインストーミング（集団でアイデアを出し合うことで、相互交錯の連鎖反応や発想の誘発を期待する技法）の説明。
- ・テーマは「動物園にいる動物」で練習を行う。
- ・練習後、各グループごとにテーマを「中学生になってわかったこと（楽しかったこと、良かったこと、悪かったことなど）」として作業を行う。各自思いつづものをポストイットに記載して、グループ全員で仲間ごとに分ける作業を行う。
- ・作業後、各グループごとにまとめたものをホワイトボードに貼り、ギャラリーウォークのやり方で他のグループの結果を見る。



各グループの作業結果は次のとおり（原文のとおり）。



(個人的な・・・)

『個人』

- オスグットでひざがまがらなくなった。
- いろいろな料金が変わった。

『その他』

- 自由が増えた。
- 本をかなり読むようになった。
- 色々なことに興味をもった。

『時間』

- 自習時間が増えた。
- 机に向き合う時間が増えた。
- 勉強が増えた。
- 寝る時間が増えた。
- 寝る時間が減った。

(学校)

『部活』

- ・部活があって熱中する事が1つ増えた。
- ・表しが多い。

『委員会』

- ・委員会が長くなった。
- ・生徒会楽しい。
- ・「放課後」や「昼休み」があるのに、委員会や集まりでつぶれることが多い。

『勉強』

- ・勉強がむずかしくなった。
- ・せいせきを気にするようになった。
- ・授業の時間が長くなった。
- ・先生からのしせんが変わった。

『自立』

- ・自主的な活動に積極的に取りくむようになった。
- ・責任をもつことが多くなった。
- ・何事にも自分達で計画をたてるが多くなった。

『校則』

- ・校則が小学校よりも厳しくなった。
- ・昼休みが長くなった。
- ・あいさつをしっかりとるようになった。
- ・あいさつが多くなった。
- ・先輩、後輩の上下関係がはっきりしている。
- ・上下関係がはげしくなった。
- ・敬語を使うようになった。

『しかたがないこと』

- ・教室移動が多くなった。
- ・登校時間が長くなった。
→学校が遠くなった。
- ・上下関係がほとんどない。

『中学校に入って変わったコト』

- ・外に出ることが増えた。(放課後)
- ・外で遊ばなくなった。
- ・あそび時間が減った。
- ・放課後などに遊ぶ時間が減った。

『改善しようと思えばできること』

- ・事件が多発する。

第2回青少年会議について

○ 日時：平成26年10月18日（土）午前10時～午後0時

○ 場所：市役所502・503会議室

○ 主な会議内容

◇第2回目の会議より初めて参加した中学生の挨拶及びキャンプネームの決定。

◇欠席の中学生も含めて、チームの割り振りを決定。

チーム	中学生	サポーター
アメリカンパンサー★	荒井千香子（一中2年）、加藤匠（二中2年）、桒本晃ノ介（二中2年）、佐々木彩乃（三中2年）、川崎ナナミ（四中2年）	千代真理子、三竹真知子、小林淳史、杉本綾亨、井上桜
こまえっしー	豊田歩（一中2年）、藤田芳（二中2年）、細山颯太（三中1年）、山崎航輔（三中2年）、高田友希子（四中2年）、小林拓未（四中2年）	宮谷敏江、三角久美子、富永恵仁、石賀咲葵、石賀万葵、高野翔太、

◇アイスブレイク

- ・あと出しじゃんけん（身体を動かすじゃんけん）

◇ワークショップ

- ・グループに分かれて前回の会議の流れを思い返し、最後に模造紙にまとめたものを見直す。
- ・「中学生になってからやりたいと思っていたこと」をテーマに、宿題で考えてきたアイデアをポストイットに記載して、グループ全員で仲間ごとに分ける作業を行う。



- まとめた模造紙を前回の模造紙と並べてホワイトボードに貼り付け、二つを見比べながら、繋がりのある部分について話し合う。



- 「もっとやってみたいこと、変えたいこと、できていないこと」をテーマに、宿題で考えてきたアイディアと、模造紙を見比べながら思いついたアイディアをポストイットに記載して、グループ全員で仲間ごとに分ける作業を行う。
- 作業後、各グループごとにまとめたものをホワイトボードに貼り、別グループへ説明を行う。別グループの中学生及びサポーターから、発表したものについて意見をもらう。



各グループの作業結果は次のとおり（原文のとおり）。

【こまえっしー】中学生になってからやりたいと思っていたこと

第2回青少年会議

ウーパールーパー

『交流』

- ・他校との部活などでの関わり
- ・色々な生徒や先生と関わりをもつ
- ・他学年との交流を深める

『生徒会（役員）』

- ・生徒会役員になりたかった
- ・生徒会に入り、学校に貢献する

『学校（全体）』

- ・行事に全力で取り組む
- ・生徒だけで学校を動かす

『部活』

- ・部活に没頭する日々を送る
- ・部活動をがんばりたかった
- ・吹奏楽部に入部すること

『個人』

『学校』

- ・クラスや学校の役に立てることをする
- ・英語の勉強をがんばりたかった

『生活』

- ・地域活動やボランティア活動に参加すること
- ・シエナや交響楽団のプロの演奏会に行くこと
- ・友達と打ち上げがしたい
- ・色々な所に出かける

【アメリカンパンサー★】中学生になってからやりたいと思っていたこと

『学校の活動』

- 生徒会活動
- 委員会活動

『友達』

- 友達をつくる

『勉強』

- 勉強
- 習い事（受験を考えて塾など）

『学校行事』

- 学校行事を楽しみたい
- 修学旅行でワイワイしたい（さわぎたい）
- 合唱

『部活』

- 部活
- 部活を頑張りたい
- 今とは違う部活
- 部活を積極的にやる

『遊び』

- 友達と泊まりに行きたい
- 友達と旅行（外出）
- 電車など交通機関を使って遊ぶ
- 遠くに遊びに行きたい
- 自分達で企画して遊ぶ
- 自分達だけで自由に出かけたりできて嬉しい
- 小学生の時とは規模が違う遊びをしたい

『学校』

『校則改正』

- ・学活・道徳・総合の時間の使い方考え直す
- ・他クラス侵入の許可!!
- ・生活範囲を変える

『生徒会役員会』

- ・今までにない新しい生徒会を創っていく
- ・あいさつの活発化
- ・生徒会の活動の幅を広げる

『行事』

- ・国際理解講演をもっとやってみたい
- ・球技大会をやる
- ・学年で出かける
- ・校外での活動の活発化
- ・文化祭や学園祭

『部活』

- ・部活の発表の場が、もう少しほしい
- ・水泳大会を増やしてほしい
- ・文芸部の創設
- ・いろんな人の演奏を”部”として聞きたい

『勉強』

- ・個人選択の教科を作る

『必要な場所』

- ・生活範囲を変える（交流のために）
- ・近くの小学校などとの交流活動
- ・小学生との交流
- ・他学年との交流の機会を増やす
- ・同年代以外の人との関わりがない

『必要な場所』

- ・家だと集中できないから、市内にちゃんとした自習スペースがほしい
- ・中学生が市内で遊べる所がほしい
- ・遊ぶ場所を作してほしい

『やりたいこと・やってみたいこと』

- 中学になってから中々遊べなくなったので遊びたい
- 泊まりに行っていないのでいきたい
- 修学旅行でワイワイできていない…。まず、まだ行ってない。
- 友達と旅行（外出はできてるけど）旅行はできていない

『要望・希望・願望』

- 近くで集まれる大きい場所が欲しい（レストランとかで大人数でいける所）
- 動物を飼育したい
- 1年生の態度を改善したい
- クラスの雰囲気をもっと！よくしたい
- 体育館に空調設備をつけてほしい
- 図書館に本を増やしてほしい
- 校庭を平らにしてほしい

『学校ならではの
アピール』

- 銀なん募金のアピール

『やってみたい行事』

- 別の部活
- 行事へのとりくみ
- もっと学校行事をふやしたい
- 球技大会を全校でやりたい
- 球技大会をやりたい（全学年）
- 運動関係など

『かかわりがない』

- 中学生の人たちと連携してすることがない
- 他中とのかかわりがあまりない

『他校・地域のかかわり』

- 4中学校合同勉強会
- 他の中学校の生徒としゃべる機会がない
- 近隣の小学校との交流を赤める行事を行いたい
- 地域の方々との活動
- 狛江、4中学校との交流を深める行事を行いたい

第3回青少年会議について

○ 日時：平成26年11月8日（土）午前10時～11時40分

○ 場所：市役所502・503会議室

○ 主な会議内容

◇アイスブレイク

- ・+2（口という漢字に2画足してできる漢字を書く）

◇ワークショップ

- ・グループに分かれて前回の会議の流れを思い返し、最後に模造紙にまとめたものを見直す。
- ・「もっとやってみたいこと、変えたいこと、できていないこと」をテーマに、宿題で考えてきた追加したいアイデアをポストイットに記載して、グループ全員で仲間ごとに分ける作業を行う。



- ・まとめた意見の中から、「実現したいこと」をテーマに、宿題で考えてきたアイデアと、模造紙を見て思いついたアイデアをポストイットに記載して、グループ全員で仲間ごとに分ける作業を行う。
- ・作業後、各グループごとにまとめたものをホワイトボードに貼り、別グループへ説明を行う。別グループの中学生及びサポーターから、発表したものについて意見をもらう。

各グループの作業結果は次のとおり（原文のとおり）。

【こまえっしー】もっとやってみたいこと、変えたいこと、できていないこと〔追加版〕

『学校』

『校則改正』

- ・学活・道徳・総合の時間の使い方考え直す
- ・他クラス侵入の許可!!
- ・生活範囲を変える

『生徒会役員会』

- ・今までにない新しい生徒会を創っていく
- ・あいさつの活発化
- ・生徒会の活動の幅を広げる

『行事』

- ・国際理解講演をもっとやってみたい
- ・球技大会をやる
- ・学年で出かける
- ・校外での活動の活発化
- ・文化祭や学園祭
- ・クラス対抗の協議を増やす（体育祭）
- ・昼放送の充実
- ・三年生のお別れ会みたいな形で低学年と遊ぶ機会がほしい

『必要な場所』

- ・家だと集中できないから、市内にちゃんとした自習スペースがほしい
- ・中学生が市内で遊ぶ所がほしい
- ・遊ぶ場所を作ってほしい
- ・PCルームの開放をしてほしい
- ・生徒が自由に使えるパソコンがほしい

『部活』

- ・部活の発表の場が、もう少しほしい
- ・水泳大会を増やしてほしい
- ・文芸部の創設
- ・いろんな人の演奏を”部”として聞きに行きたい

『交流』

- ・生活範囲を変える（交流のために）
- ・近くの小学校などとの交流活動
- ・小学生との交流
- ・他学年との交流の機会を増やす
- ・同年代以外の人との関わりがない

『勉強』

- ・個人選択の教科を作る
- ・テストと行事の間をもっとあける
- ・中間と期末の間をあける
- ・授業中のグループ活動
- ・土曜日に授業

『必要な物』

- ・図書室の本をもっと増やしてほしい

『やりたいこと・やってみたいこと』

- 中学になってから中々遊べなくなったので遊びたい
- 泊まりに行っていないのでいきたい
- 修学旅行でワイワイできていない…
まず、まだ行ってない
- 友達と旅行（外出はできてるけど）旅行はできていない

『要望・希望・願望』

- 近くで集まれる大きい場所が欲しい（レストランとかで大人数でいける所）
- 動物を飼育したい
- 1年生の態度を改善したい
- クラスの雰囲気をもっと！よくしたい
- もっと部活を楽しみたい
- 体育館に空調設備をつけてほしい
- 図書室に本を増やしてほしい
- 校庭を平らにしてほしい
- 多摩川を最大限利用する！！

『学校ならではの
アピール』

- 銀なん募金のアピール

『やってみたい行事』

- 別の部活
- 部活をもっと楽しみたい
- 行事へのとりくみ
- 狛江市主催の林間学校もどき
- もっと学校行事をふやしたい
- 球技大会を全校でやりたい
- 球技大会をやりたい（全学年）
- 運動関係など

『かかわりがない』

- 中学生の人たちと連携してすることがない
- 他中とのかかわりがあまりない

『他校・地域のかかわり』

- 4中学校合同勉強会
- 4中学校合同で何か行事を！
- 狛江4中学校との交流を深める行事を行いたい
- 他の中学校の生徒としゃべる機会がない
- 近隣の小学校との交流を赤める行事を行いたい
- 地域の方々との活動

【こまえっしー】実現したいこと

(* '▽' *)

『交流』

- ・学校の先生から小学校に連絡をしてもらって、交流の企画も自分達で実行委員とか決めて行う。
中2と小6対象で小6が入学した時に、少しでも先輩に声を掛けやすくなるような交流会を行う。
- ・他クラスの侵入を許可するために、生徒会意見箱に意見を入れてもらい、意見を実現するようにする。
- ・生活範囲を変えるために、学年の先生に聞いてみる。言ってみる。

『行事』

- ・自分達で企画してやってみる。
行事の無い11月～1月や冬休み、夏休みなどにやる。
- ・生徒総会を増やす。
- ・学校内のミニ発表会をやる。
(部活の発表)
- ・新しい行事を取り入れ、他の行事をなくす。

『場所』

- ・中学生の意見を青少年会議などの地域活動を活かして、少しずつ地域の人に伝える。
- ・市内公園のボール使用を許可する。
- ・自習による教室利用が可能か聞く。

『実現するために行うこと』

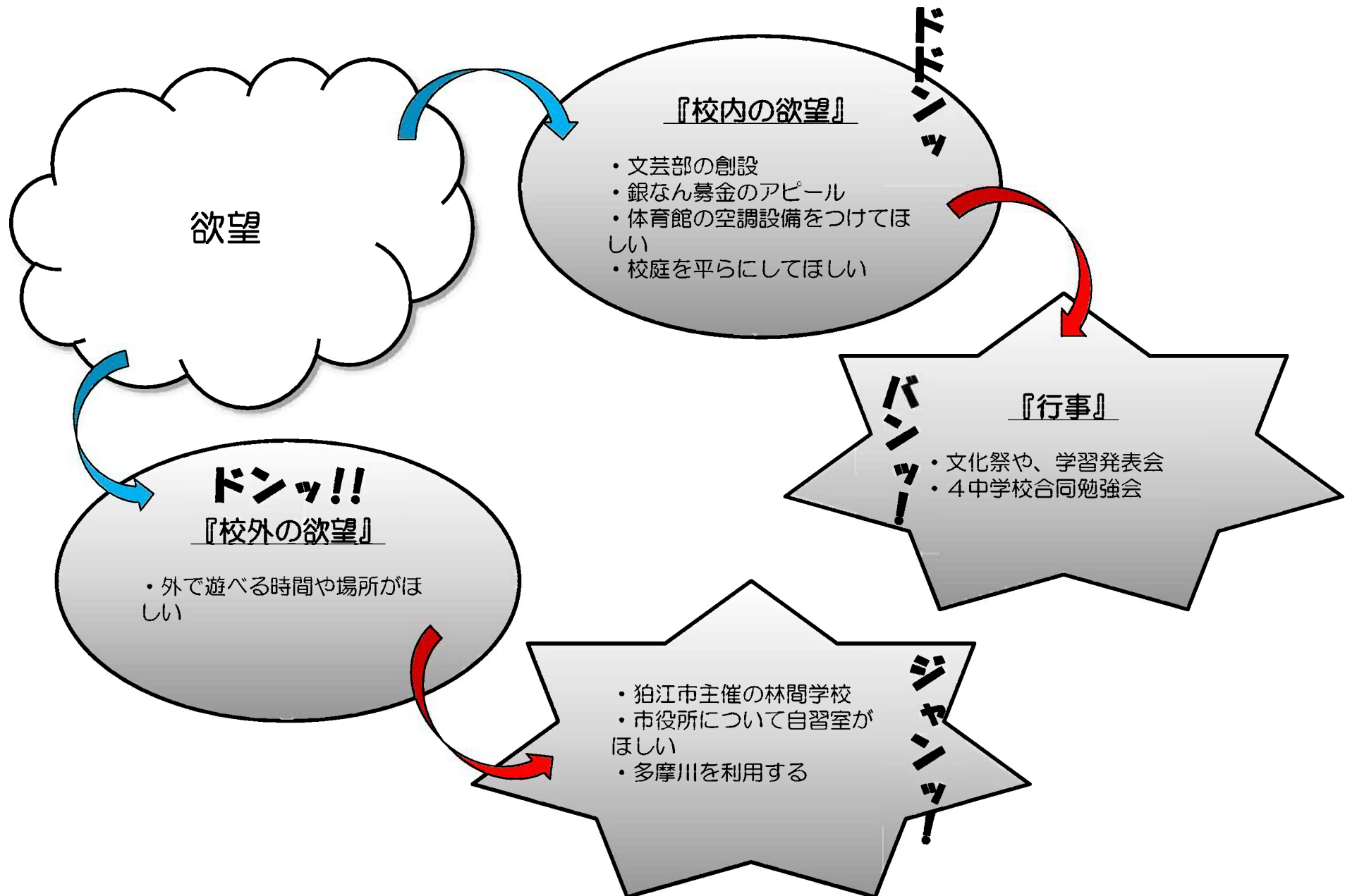
- ・今無理なことでも先生に聞いてみる。
- ・生徒で意見をまとめる。

『あいさつ』

- ・あいさつを活発にするためにポスターを作る。
あいさつ率を出す。呼びかける。
あいさつ率： $(\text{あいさつした人数} / \text{登校人数}) \times 100$

『委員会』

- ・委員会の話す場を増やし、活動の機会を増やす。
- ・委員会で話し合う。
- ・自分達で企画する。
(実行委員を作る。)



第4回青少年会議について

○ 日時：平成26年11月30日（日）午前9時30分～11時45分

○ 場所：市役所502・503会議室

○ 主な会議内容

◇アイスブレイク

- ・人間知恵の輪（参加者全員で手をつなぎ、目をつぶる。ファシリテーターが人を動かして絡ませる。目を開けて、全員で一つの輪に戻るように試行錯誤する。）



◇ワークショップ

- ・グループに分かれて前回の会議の流れを思い返し、最後に模造紙にまとめたものを見直す。
- ・「なぜそれを実現できていないのか」をテーマに、模造紙を見ながら思いついたアイデアをポストイットに記載する。



- ・こまえっしーは前回作成した「もっとやってみたいこと、変えたいこと、できていないこと」の模造紙に、アメリカンパンサーは「実現したいこと」の模造紙に、グループ全員で項目ごとにポストイットを貼り付けていき、意見交換を行う。
- ・先に考えた「なぜそれを実現できていないのか」を念頭においた上で、「実現させる方法」をテーマに、個人のアイデアをポストイットに記載する。
- ・こまえっしーは前回作成した「実現したいこと」の模造紙にグループ全員で項目ごとに貼り付けていき、アメリカンパンサーは新しい模造紙にグループ分けをしていく。
- ・作業後、各グループごとにまとめたものをホワイトボードに貼り、別グループの模造紙を見るギャラリーウォークを行う。

各グループの作業結果は別紙のとおり（原文のとおり）

【こまえっしー】なぜ実現できていないか①

『校則改正』

- 学活・道徳・総合の時間の使い方考え直す
- 他クラス侵入の許可!!
⇒他の暮らすと仲良くなりすぎて、自分のクラスと協力できない。
⇒他クラスに入ってふざけたり、時間を守らなかったりするから。
⇒時間割がちがうのにずっとしゃべっていて、メリハリをつけられなくなる。
- 生活範囲を変える
⇒何か事件が起こったときに、3つの学年が同じ場所にいると、解決が難しくなるから。
また、犯人を捜すのが大変になるから。

『部活』

- 部活の発表の場が、もう少しほしい
- 水泳大会を増やしてほしい
- 文芸部の創設
⇒場所と先生が居ないから。
⇒活動場所やこもんの先生がみつからないため。
- いろんな人の演奏を”部”として聞きに行きたい

『学校』

『生徒会役員会』

- 今までにない新しい生徒会を創っていく
⇒中央委員会の開催が少なく、計画ができないため。
- あいさつの活発化
⇒あいさつの重要性を理解できていないから。
- 生徒会の活動の幅を広げる
⇒何か新しいことをするときは、必ず先生に報告しなければならないから。
また、会議を通さなければならないから。

『交流』

- 生活範囲を変える（交流のために）
- 近くの小学校などとの交流活動
⇒各校の日程が合わなかったりするから。
- 小学生との交流
⇒中学校と小学校で交流を行う理由や互いに合う時間が無かったりするから。
- 他学年との交流の機会を増やす
- 同年代以外の人との関わりがない
⇒交流する場が少ないから。

【こまえっしー】なぜ実現できていないか②

『学校』

『行事』

- ・国際理解講演をもっとやってみたい
- ・文化祭や学園祭
- ・球技大会をやる
- ・校外での活動の活発化
⇒他の行事があるため。
⇒今ある行事を成功させことで大変だから。
- ・学年で出かける
- ・クラス対抗の競技を増やす（体育祭）
- ・昼放送の充実
⇒放送する委員が音楽ばかり流している。
- ・三年生のお別れ会みたいな形で低学年と遊ぶ機会がほしい
- ・生徒総会を増やす
⇒テストや行事があり時間がないのと、授業料が足りなくなってしまうため。

『勉強』

- ・個人選択の教科を作る
- ・テストと行事の間をもっとあける
⇒行事の数が多いから。
⇒他にもやることもあり、年間的にそうになってしまうから。
⇒各学年の行事があつたりして、3学年全部が合う時が、テストと行事の間（近い）になってしまうから。
- ・中間と期末の間をあける
- ・授業中のグループ活動
⇒グループによってその時間の価値に差が出るから。
- ・土曜日に授業

『必要な物』

- ・図書室の本をもっと増やしてほしい
⇒学校が決めるお金の使い道が本に使われていないから。

『必要な場所』

- ・家だと集中できないから、市内にちゃんとした自習スペースがほしい
⇒自習がしたいのに、スペースが欲しいという事が先生方などに伝わっていない。
- ・中学生が市内で遊べる所がほしい
⇒スポーツができる所や大きい声が出せる所が少ない。
- ・遊ぶ場所を作ってほしい
- ・市内の公園をボール使用を許可する
⇒公園にネットなどの対策をしていない。
⇒公園の住民にめいわくをかける。
⇒中学生（小学生）同士でやると、小さい子が危ないとかいろいろ理由があつて、大人に注意されて、できない。（ルールがある。）
⇒お年寄りや小さい子もいるので、ボール遊びが危ないから。
- ・PCルームの開放をしてほしい
⇒何かがこわされていたり、なくなっていたりしたとき、犯人が特定しづらくなるから。
- ・生徒が自由に使えるパソコンがほしい
⇒インターネットでいきすぎた行動をとるかのうせいがある。

(´▽`)ﾉ
ｷ(°▽°)ﾀｰ
ε(。_。)3

【アメリカンパンサー★】なぜ実現できていないか

欲望

『校外の欲望』

ドンッ!!

- ・外で遊べる時間や場所がほしい
⇒部活がいそがしかったり、勉強したりするから、なかなか時間がないと思う。
時間があまりないと、場所を用意しても利用されないから、作っていないんじゃないかと思う。
⇒時間は、平日部活・休日習い事OR部活で埋まっている。
場所は、生徒達で気軽に集まれるような場所が少ない。
- ・銀なん募金のアピール
⇒狛江市内の小・中学校の生徒が、まだ銀なん募金について知らない生徒もいるからできていない。
⇒他の中学校と接するきかいがあまり多くないから。

- ・狛江市主催の林間学校（希望者だけでも）（泊まり込みがbest）
⇒中学校だと4つの学校の生徒全員をどこかに行かせることになるので、場所がなさそう。
⇒狛江市がもっている建て物（自然に近い場所）が少ない。
- ・市役所について自習室がほしい
- ・多摩川を利用する
⇒多摩川を使った行事が少ない。多摩川への意識が小さい。
⇒小学校では授業で多摩川を利用するけど、中学校では授業の時間を削ってまで行くのは難しい。
放課後、休日にも部活などがあるので、行くきかいがなかなかない。

ジャンッ!

『校内の欲望』

ミッパッ

- ・文芸部の創設
- ・体育館の空調設備をつけてほしい
⇒お金がかかる。
- ・校庭を平らにしてほしい
⇒校庭を平らにするために時間とお金がかかる。その間、校庭が使えない。

『行事』

ゲッ

- ・文化祭や、学習発表会
⇒他校との連絡があまり行えていない。日程がそろわない。
⇒中学校内でやるとしたら準備とかにも長い時間を使うから。
- ・4中学校合同勉強会
⇒他校の先生達とうまくコミュニケーションがとれていなかったり、学校同士の関係があまりないので、できていない。
⇒他の学校とのかかわりがあまりないから。
⇒4つの中学校の時間が合わないからできない。

【こまえっしー】実現する方法【追加】

『交流』

- ・学校の先生から小学校に連絡をしてもらって、交流の企画も自分達で実行委員とか決めて行う。
中2と小6対象で小6が入学した時に、少しでも先輩に声を掛けやすくなるような交流会を行う。
- ・生活範囲を変えるために、学年の先生に聞いてみる。言うてみる。
- ・他学年や小学校と交流する行事をつくる。
- ・他クラスの侵入を許可するために、生徒会意見箱に意見を入れてもらい、意見を実現するようにする。
先生と話す。

『行事』

- ・自分達で企画してやってみる。
行事の無い11月～1月や冬休み、夏休みなどにやる。
- ・生徒総会を増やす。
- ・学校内のミニ発表会をやる。
(部活の発表)
- ・新しい行事を取り入れ、他の行事をなくす。
- ・テストと行事の間を空ける。
テスト、行事等を減らす。
- ・球技大会アンケートをとろう！

(* 'V' *)

『場所』

- ・中学生の意見を青少年会議などの地域活動を活かして、少しずつ地域の人に伝える。
- ・市内公園のボール使用を許可する。
ネットをはる。ボール専用エリアをつくる。
- ・自習による教室利用が可能か聞く。
先生に正式な形で伝える。

『実現するために行うこと』

- ・今無理なことでも先生に聞いてみる。
- ・生徒で意見をまとめる。
- ・とりあえずアンケートをとろう！
- ・学校予算を増やす。
- ・先生が学校についてもっと知るべきである！！
- ・実験きかんをつくる(全て)
- ・ボキン

『あいさつ』

- ・あいさつを活発にするためにポスターを作る。
あいさつ率を出す。呼びかける。
あいさつ率：(あいさつした人数／登校人数)×100
- ・重要性を生徒会朝礼で生徒会(誰か)が伝える。
- ・あいさつのする場所やしかたの工夫
- ・あいさつについての広報誌を発行し、あいさつの大切さを理解してもらう。

『委員会』

- ・委員会の話す場を増やし、活動の機会を増やす。
- ・委員会で話し合う。
- ・自分達で企画する。
(実行委員を作る。)
- ・昼放送の充実。どうしたいかのアンケート。
お昼の時間をのばす！

『体育館の空調設備・学校設備など・・・』

- ・文芸部の創設
何部を増やして欲しいかアンケートをとりまとめる。
中学生だけでなく、小学校に渡して書いてもらう。
- ・体育館の空調設備
1番はエアコンをつけたいけどムリだったら、夏用に扇風機とかでも良い…？
銀なん募金で集まったお金でつける。
- ・校庭を平らにしてほしい
銀なん募金で集まったお金で平らにする。

『学校外』

- ・市役所の自習室
図書館の空いている場所を利用する。
使っていない部屋を開放してもらう。

『外で遊ぼう』

- ・外で遊ぶ時間＆場所
児童館などで、中学生が気軽に参加できるイベントなどをつくる。
(スポーツやゲームetc…)
中学生が気軽に行くことができ、一日を過ごせる場所をつくる。

『生徒会』

- ・生徒会交流会
今は夏に1回しかないから、半年後の冬にもう1回やることにすればいいと思う。

『4中学校合同』

- ・4中学校合同勉強会
先生たちに手伝ってもらう。
中学校の先生方に日程を合わせてもらう。
生徒会交流会の回数を増やして、意見の交流をふやす。
生徒会での交流で時期を合わせて先生に生徒会役員が伝える。
場所は1つの学校を利用しても良いかも。
- ・文化祭と学習発表会
他校の連絡を増やす。
役員の交流を増やす。
生徒会交流会を増やす。
先生たちの上の存在の人から「中学校どうして(文化祭など)見に行っても良いと思いますよ」てきなことを言ってもらおう。

- ・銀なん募金のアピール
生徒会交流会の時に時間をとってもらおう。

銀なん君

第5回青少年会議について

○ 日時：平成26年12月7日（日）午後3時～5時

○ 場所：市役所502・503会議室

○ 主な会議内容

◇アイスブレイク

- ・人間知恵の輪“リベンジ”（参加者全員で輪になり、誰かと右手を繋ぐ。左手を右手とは違う人と繋ぐ。全員で一つの輪に戻るように試行錯誤する。）

◇ワークショップ

- ・グループに分かれて前回の会議の流れを思い返し、最後に模造紙にまとめたものを見直す。
- ・前回作成した模造紙「実現したいこと」と「実現させる方法」が書かれているものを見て、自分達が求めている中高生の居場所作りとは何か、テーマとそのテーマを選んだ理由を考える。
- ・各自で考えたテーマに沿って、前回作成した模造紙を参照しながら、3つの事業を考える。
- ・各自で記入用紙に書き出したものをグループで見ながら話し合っ、意見をまとめていく。



各グループの作業結果は別紙のとおり（原文のとおり）

【こまえっしー】テーマと事業について

テーマ『中高生の意見が反映される中高生の居場所づくり』

事業1「アンケート」

アンケート
(要望
疑問
不便なこと)

↓
集計

↓
考察

↓
提案
(市)

アンケート
(学校・・・)

2回目以降
イベントに
ついて

アンケート
イベント

事業2「イベント」 (球技大会・自習 ・スタンプラリー)

宣伝
(ポスター・SNSで拡散)

準備
(実行委員を募る・集まる
But場所と時間が...)

↓
本番

独自性
新しい考え

事業3「スペース」 (簡単に借りたい!)

☆理由をつくる
借り方を知ってもらう

大人

子ども
大人数

保護者
他人
市民

【アメリカンパンサー★】テーマと事業について

テーマ『狛江市内の中学生の関係が深められる
中学生の中学生による中学生のための居場所づくり』

事業1「4中学校合同勉強会」

事業2「募金活動」・・・合同の募金週間

事業3「4中学校合同イベント」

4中学校の役員の交流を
増やす。

第6回青少年会議について

- 日時：平成27年1月18日（日）午前10時～午後0時15分
- 場所：市役所502・503会議室
- 主な会議内容

◇ワークショップ

- ・グループに分かれて前回の会議の流れを思い返し、最後に模造紙にまとめたものを見直す。
- ・前回作成した模造紙「3つの事業」を実現させる方法を考える。
- ・各自宿題で考えてきたものをポストイットに書き出す。



- ・ポストイットを見ながらグループで話し合っ、意見をまとめていく。
各グループの作業結果は別紙のとおり（原文のとおり）



- ・シナリオと模造紙のデザイン案の作成担当を決める。

【こまえっしー】実現方法について①

テーマ『中高生の意見が反映される中高生の居場所づくり』

事業1『アンケート』

①内容作成

- ・アンケートを作成する。内容を決めて作る。
- ・現在行われているイベントについて知っているか、今後やりたいイベントについての質問を入れたアンケート用紙をつくる。
- ・アンケートの紙を作成し、学校に行って時間をつくってもらい、イベントなどについてアンケートをとる。
- ・アンケートの質問を具体的にし、複雑な質問をさける。

②実施

- ・時間を作ってやってもらう。
 - ・先生におねがいし、アンケートをやる。
 - ・市内の中学校すべてに①のアンケートを配布する。そして答えてもらう。
 - ・大人にも行ってもらう。生徒とは違う立場の意見がもらえる。
 - ・イベント会場などに設置する。人が集まる場所にアンケート場を設ける。ただ設置するよりも効率が良く様々な意見を得られるから。
 - ・定期的に行う。1回で終わりにしないで繰り返し行い、もっと具体的に。→市へ
 - ・各校で行い、生徒会にも協力を求める。
- 中高生の意見を生徒会にも協力してもらって学校ごとに集計する。まとめて結論を出す。→市へ

③集計

- ・集計をして、どうすればできるか考える。
 - ・中学校からアンケート回収をし、考案をする。
- 考案を理由とし、レポートを作成する。

○アンケート実施の許可を！

- 1 内容
- 2 製作
- 3 印刷
- 4 実施
- 5 集計
- 6 考察

○第一回

何をしたいか（記述）

例も

○第二回以降

どうだったか
（チェック）

アンケート例

○チェック式

- ☒
-
- ☒
-
- ☒

○記述式

【こまえっしー】実現方法について②

テーマ『中高生の意見が反映される中高生の居場所づくり』

事業2『イベント』

- ① アンケートをもとにし、内容をまとめる。
 - ・ アンケートで中高生が参加しやすくする。
“事業1”のアンケートを使って、多い興味のジャンルで考え、行う。
 - ・ 目的、内容をはっきりさせる。
目的、内容をはっきりさせることにより、実施がしやすくなり、人も集まりやすいから。
 - ・ 人にアンケートをとって、どんな事をするか決める。
そのアンケートをもとに、日付、場所、くわしい内容を決める。
- ② 内容、日時、場所を決め、場所をかりる。
 - ・ 日時、場所を決める。
人がより集まりやすい日、場所で行う。
- ③ アンケート結果から提案する。（誰に??）
- ④ 実行委員を募集する。
- ⑤ ポスター、手紙による宣伝を行う。
 - ・ 学校に手紙を配って拡散。ポスターやSNSより、目を通す人が多い。
 - ・ ポスターや配布物で拡散。中高生のアンケートを活かしてイベントを考え、日時、場所、人を募る。
- ⑥ 地域のイベントに参加する。
 - ・ 市民祭りなどに参加し、その中で自分達のイベントを開催する。
実施がしやすく、人が集まりやすい。

- 1 アンケートをまとめる
- 2 提案をする（市、学校）
- 3 実行委員を募集
- 4 ポスター、SNSによる拡散
- 5 内容（日、時、場）を決定

実行委員

- ・ 学校から出す。
- ・ ポスターを作ったり、準備をしたりする。

【青少年会議】

【実行委員】

【宣伝】 【準備】 【書記】
 （広報） （物・セッティング）
 ポスター
 お知らせ

【こまえっしー】実現方法について③

テーマ『中高生の意見が反映される中高生の居場所づくり』

事業3『スペース』

①理由を明確

- ・明確な理由をつくる。
- ・アンケート、イベントの内容をくわしくする。まとめる。
- ・目的や内容を明確にする。
なぜスペースをかりたいのか、どんなことをするのかを具体的に示す頃でかりやすくなるから。

②フリースペースの使い方を変える。

- ・スペースを遊びと勉強と有効活用する。（間に壁になるしきりをするといいかも。
- ・予約なしのフリースペースを増やす。
普段あまり使用されていない部屋を自習他イベントに用いる。
使えたら、そのことも広める。
- ・イベントの時、めんどくさいことしなくても、借りられる様に市にたのむ。

③代表者を

- ・スペースを借りるために責任者を依らいする。
- ・大人にたのむ。
- ・大人に代表者をやってもらい、団体としてかりる。
子供達だけでかりるより、しっかりとした団体に所属し、大人に代表になってもらうことで信頼を得られるから。

- 1 理由を明確にする
- 2 スペースの借り方を簡単にする
- 3 代表者をきめる
(大人の方に頼む)

【アメリカンパンサー★】実現方法について①

テーマ『狛江市内の中学生の関係が深められる
中学生の中学生による中学生のための居場所づくり』

事業1『4中学校合同勉強会』

- ・夏合宿勉強会
夏休みにみんなで合宿して勉強会をやる。日帰り（鎌倉、江ノ島、奥多摩）
- ・アンケート
何の勉強をするかのアンケートをとる。
（やりたい教科や9教科遺体のことなど 例：薬物、キリスト教…）
- ・じゅけんべんきょかい
受験のことについて学ぼう。 他校の生徒と知り合えば、良刺激になるかも？
- ・先生に移動してもらう
先生に色んな中学校に行ってもらい、生徒が様々な先生に授業を受けられるようにする。
- ・合同問題を作成
色んなせんせいからポイントを聴いたりして、色んな先生の情報がつまった問題プリントを作成し、全ての中学校に配布する。
- ・テスト前勉強会、勉強場所開放
市役所の1室を開放し、勉強する。
- ・事前にクラスわけをして、レベル別で行う。
テストの結果でクラス分けをして実力別にする。（市役所や児童館をかしてもらう。）
- ・先生出張授業
先生がランダムに各校に行っていただき、授業をする。（ほぼ一日）弁当も食べる。
- ・祝日（土日）に教科別に対応する
平日は学校があるので土日祝に行く。学年、教科ごとにクラスをわけてやる。
- ・合同勉強会
（例）1中と2中、3中と4中のように中学校を2つずつで合同にして、どちらかの場所を使って勉強会を行う。
- ・ビデオ授業
違う学校の先生がその先生のいる学校の空いている教室を使って中継ビデオ授業をしていただく。
「出張授業」ができない場合

たのしく

・エコルマホール合同勉強会

エコルマホールに四中学校の生徒が集まって授業をする。学年別に時間を分けて集まってもらう。

目的：受験について学ぼう

対象：中2（自由）

専門の人、卒業生が講師

内容：・受験制度
・勉強方法
・おもしろい実験
・歴史
+勉強 in Summer

【アメリカンパンサー★】実現方法について②

テーマ『狛江市内の中学生の関係が深められる 中学生の中学生による中学生のための居場所づくり』

事業2『募金活動…合同の募金週間』

- ・ 狛江市ぼきん
赤い羽根募金、ユニセフ募金になって、狛江市の中学生による狛江市のためのぼきん集まったお金は学校の設備とか
- ・ 地域のわ
この募金に地域の方にも参加してもらう。
- ・ 四中学校合同募金を寄付する
集まったお金を送り先を決めて寄附する。
- ・ 現在のものに+αして行う
年に何回も実施ではなく、今行っているものと一緒に。
集まったものを、各学校の代表が集計する。
- ・ 銀なん募金合同週間
四中学校が同じ週に銀なん募金を行う。
ただし… ⇒銀なん足りる？
- ・ 各学校で特色をいかした募金活動
それぞれの学校で募金してくれた人にお礼に学校の特色をいかしたものを渡す。
- ・ 合同宣伝VTRをつくる
募金をすることで、どんな効果があるかなどを入れたVTRをつくり、全ての中学校で渡して宣伝する。
- ・ 同じ時期に行う
生徒会などで話し合い、4中学校で時期を合わせて募金週間として行う。

市民募金

狛江市の中学生
以下省略…の募金

チャリティー
コンサート

金賞 or 有志
できるだけ 実行委員
曲・各学校

【アメリカンパンサー★】実現方法について③

テーマ『狛江市内の中学生の関係が深められる
中学生の中学生による中学生のための居場所づくり』

事業3『4中学校合同イベント』

- 文化系イベント大会
自分の特技を発表する。
(例：モノマネ、歌、けん玉とかとか…)
- 運動トーナメント
バスケや野球、Soccerなどのスポーツで対戦する。
- 合同文化祭
各クラスでお店を考えて、どこかの場所をかしきって合同で文化祭をやる。
- 合同合唱コンクール
各学校で合唱コンクールをして、金賞のクラスを集めてきそう。
- その大会を…トーナメント方式にする
いきなり合同だと大変だから種目ごと各学校トーナメントで行って4中学校代表が集まって決勝を行う？
- 授業の一貫として大会形式で行う
種目、学年を考えたらうえて、チームをわける。
大会形式にして皆のやる気を出す笑
- スポーツ大会
球技、水泳、陸上…etc
⇒いろいろできます！！
- 合同ゲーム大会
実行委員をつくり、話し合って4中学校のどこかで学校対抗のゲーム大会を開く
- 他学校の体育祭応援
体育祭を他の学校のも見に行ってもいいことにする。

体育祭

時期・場所

球技 ⇒ ポートボール、ドッジボール
水泳 ⇒ ベストメンバー
陸上 ⇒ 別の学校のクラスがチーム
先生対抗 … コスプレ

実行委員

第7回青少年会議について（各グループに分かれての開催）

こまえっしー

- 日時：平成 27 年 1 月 31 日（土）午前 10 時～午後 0 時
- 場所：市役所特別会議室
- 発表用模造紙及びシナリオの作成

アメリカンパンサー★

- 日時：平成 27 年 2 月 7 日（土）午前 10 時～午後 0 時
- 場所：市役所 502・503 会議室
- 発表用模造紙及びシナリオの作成



第7回青少年会議つづきについて（各グループに分かれての開催）

アメリカンパンサー★

- 日時：平成 27 年 2 月 8 日（日）午後 2 時～4 時
- 場所：市役所 502・503 会議室
- 発表用模造紙及びシナリオの作成

こまえっしー

- 日時：平成 27 年 2 月 14 日（土）午前 10 時～午後 0 時
- 場所：市役所 502・503 会議室
- 発表用模造紙及びシナリオの作成



青少年会議報告会 ―平成27年2月22日(土)―

○上田課長 お待たせいたしました。こんにちは。児童青少年課長の上田です。本日はよろしくお願いいたします。

本日は保護者の皆様はじめ学校関係者の皆様、青少年問題協議会等々、関係機関の皆様方、それに加えて、議長はじめ粕江市議会議員の皆様、ご来場いただきましてありがとうございます。

半年間、子どもたちで頑張ってまとめてきた成果を報告会という形で発表させていただきます。

今日はあいにく曇り空ですけれども、晴々と青少年会議のメンバーには発表していただければと思います。

早速ではございますけれども、副市長の水野より皆様方に、まずはご挨拶をさせていただきますと思います。よろしくお願いします。

○水野副市長 皆さん、こんにちは。

ただいまご紹介いただきました、粕江市副市長を務めさせていただいております水野でございます。

本日は青少年会議報告会に多数のご来場をいただきまして、誠にありがとうございます。本来ですと市長の高橋が挨拶申し上げるところではございますけれども、公務の都合上、出席することができませんので、私の方から挨拶をさせていただきますと思います。



この青少年会議でございますけれども、隔年開催ということになっておりまして、今回で4回目を迎えるということでございます。今年度につきましては、市内の中学校から11人の方に参加していただきまして、昨年8月の研修会に始まりまして、9月から2月にかけて中高生の居場所づくりということをテーマに、自分たちの現状を分析しまして、今求められる居場所づくりについて、会議の中で活発な議論をしていただきました。

中学生の皆さんにおかれましては、勉強や部活で忙しい中での参加ということでありましたけれども、意見をまとめるのに大変頑張っていただいたと思っております。そして、サポーターの皆様方におかれましては、中学生とともにコミュニケーションを図っていただいて、その中でも人間知恵の輪などのグループ活動を通じまして、いろいろ活躍していただいてご協力いただいたこと、誠に感謝申し上げます。

この会議でございますけれども、今後粕江の未来を担う中学生たち、まだまだ可能性のある子どもさんたちだということを、ぜひとも感じていただけたらと思います。

結びにはなりますけれども、保護者の方々、学校関係の皆様方、そして中学生をサポートいただきました皆様方、関係機関の皆様方、心より感謝を申し上げまして挨拶とさせていただきます。

本日はどうもありがとうございました。（拍手）

○上田課長 それでは引き続きまして、青少年問題協議会会長として日々ご尽力いただいております、櫻井信吾会長よりご挨拶をさせていただきます。

○櫻井会長 皆様、改めましてこんにちは。

多数の方のご来場いただきまして、誠にありがとうございます。

今、水野副市長からもお話がありましたように、この会議は隔年の開催でありまして、私も以前この報告会に、関係する一委員として出席したことを覚えております。そのときは中学生の皆さんが日常生活に関係あるもの、また狛江市の環境に関することを発表していたことが記憶に残っています。



今年度、青少年問題協議会としてこの中学生の皆さんの会議の様子を、研修の課題として挙げておりました。その関係で私も会議の途中を2回ほど見学させていただきました。ただ、そこではあまり深入りをせず、今日の皆さんの発表を楽しみにしている1人でもあります。

ここで、今日発表される中学生の皆さんに一言お話をさせてください。

9月から2月のはじめまで、長い時間だったと思いますけれども、普段の学業の合間を縫って、いろいろ会議を進めて来られました。その途中には犠牲にしなければならないことも多々あったらと思います。そして今日の日を迎えました。

今日は折しも東京マラソンをやっているのですけれども、今日皆さんが発表するということは、私はゴールではなく一通過点であると思っております。せっかくこうやって皆さんが学校を越えて話し合ってきたこと、今はまだ小さいですけれども、1つのグループという輪ができました。ぜひこの輪をもっと大きなもの、太いものにしていただきたいと、このように私たちは考えております。私たちは皆さんのその行動力やいろいろな知恵、団結力も含めて必要とする機会がたくさんあります。ぜひそのようなときには進んでそれに参加していただいて、今日、この中に来ていらっしゃる学校のお友達も誘って来ていただきたいと思っております。それが本当のゴールではないかなと私は考えております。

結びになりますが、いろいろとお忙しい中参加していただきました皆様方、本当にありがとうございます。ぜひこれからの発表をお聞きになって、ご意見があればまた申し出ていただきたいと思います。

ありがとうございます。（拍手）

○上田課長 ありがとうございました。

それでは、私から青少年会議の概要について簡単に説明をさせていただきます。

狛江市青少年会議は、狛江市次世代育成支援行動計画に基づき、狛江市と狛江市青少年問題協議会の共催で行っております。狛江市のさまざまな課題に対して青少年の視点から幅広い意見を発表する場を設け、青少年の主体的な活動を促進する目的で平成20年度より隔年で開催しております。

青少年会議の全体の目標としましては、一つ、青少年の社会参加意識を向上し、主体的な活動を促進する。二つ、異年齢の人と交流し、青少年の見地を広げ、豊かな心を育成する。三つ、テーマについて議論した結果を中学生から市長へ報告する。四つ、狛江のまちづくりへの関心を高め、次世代の市の担い手を育成することでございます。

この目標を主眼に置き、中学生11名と大学生を含む社会人サポーター11名で構成される各グループごとに、中学生が中学生自身の言葉で中高生の居場所づくりを提案するため、KJ法やブレインストーミング等の手法を取り入れながら活発に議論を積み重ねてもらいました。大人の目線から見ましたら中学生の視点は未熟かもしれませんが、中学生の考える主張をぜひお聞きいただき、実現できればと思っております。

それではただいまより司会進行を、この会議のファシリテーターとして中学生と一緒に半年間頑張ってくださいました大場さんに引き継がせていただきます。よろしくお願いいたします。



○司会（大場） 皆さん、改めましてこんにちは。今ご紹介のありました、この会議のファシリテーターを半年間務めさせていただきました大場と申します。会議ではキャンプネームをつけておりまして、そこではバオー、大場を逆にしたものですけれども、そう呼ばれておりましたので、ぜひよろしくお願いいたします。

本日はこれから終了まで私の方で司会進行をさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

今回中学生は2グループが発表を行います、その前に概要の説明を改めて私の方からさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

後ろの方、見にくかったら大変申し訳ありません。これ以上大きくならないのでご容赦いただければと思います。

会議の概要説明で、先ほどもお話がありましてとおり、青少年の社会参加意識を向上し主体的な活動を促進する。異年齢の人と交流し、青少年の見地を広げ、豊かな心を育成する。テーマについて議論した結果を中学生から市長へ報告する。最後は狛江

のまちづくりへの関心を高め、次世代の担い手を育成するという4点がこの青少年会議の目標でございます。これまで3回開催をしております。それぞれ、第1回のテーマは中学生の居場所について、2回目は私たちは粕江の大統領、そして前回3回目は、粕江のために私たちができることというテーマで発表をしております。今回は少し第1回と似ているところがありますけれども、中高生の居場所づくりについて、という形で、中学生がグループごとに発表を行います。

会議は全7回開催をしております。8月の終わりに開催し、会議の参加メンバーは以下のようになっております。2グループに分けて会議を進行、発表内容の検討を進めてきました。この後、お配りしました資料にグループ名が書いてありますけれども、こまえっしーとアメリカンパンサー★の2グループで発表を行います。

ここからは活動の様子を写真でまとめましたので、少しご覧いただきながら話をしていきたいと思っておりますけれども、最初は研修会というのを今回やりました。青少年活動として粕江市はどのようなことをやっているのかということを中心に、各活動をしている方々からお話をいただきました。ちょうど育成委員会のスライドが出ていますが、まずこれで少し知識を中学生の皆さんに入れてもらいました。会議では、まずはお互い初めてなので、先ほど人間知恵の輪というお話が副市長からありましたけれども、アイスブレイクというものを慣れるまでやっております。それで中学生同士の交流を深めつつ、アイデアを出すために付箋を使ってブレインストーミング、いわゆるKJ法というものを行い、こういった形でグループ分けをして出たアイデアを模造紙にまとめていくという作業を行っております。

そして、各グループごとに出たアイデアを発表し、グループ同士の共有を行っております。出た意見がまとまってくると、付箋がすごくいっぱい出てきた回もありまして、だんだん会議が活発になってきて、最終的には今日の発表に向けて準備をするために、少しずつ議論を収束させていくような形で、年が明けてからは、それぞれ発表する内容についてのシナリオを中学生で作成していくという形をとっていました。



そして最後に、今日皆さんのお手元に模造紙の縮小版をお配りしておりますけれども、実際にこれから中学生が発表する際に使用する模造紙の作成に入りました。大体それぞれのグループ2回ずつぐらい模造紙の作成のために開催をしています。

まとめに、本日の報告会ではそれぞれ、こまえっしーとアメリカンパンサー★が粕江市の中高生の居場所づくりについて考えたことを発表します。今回の会議に関しても前回の会議と同じく報告書を作成し、公開をする予定でございます。

では、私の説明はここまでになります。最後に1つ訂正がありますけれども、発表の順番が、資料ではこまえっしー、アメリカンパンサー★の記載となっていますけれども、順番が逆でございまして、アメリカンパンサー★の次がこまえっしーとなります。発表の後に質問の時間をそれぞれのグループに設けますが、発表の準備はそれぞれグループごとにやっていたので、お互いのグループの発表内容をほとんど知りません。ですので、基本的には中学生同士で質問のやり取りをしようと思っております。ご参加された皆様には、後ほど改めて感想などを伺いたいと思いますので、ぜひよろしくお願いいたします。

ではいよいよ、中学生の発表に入りたいと思います。

まず最初は先ほどもお話ししましたとおり、アメリカンパンサー★の皆さんから発表をしていただきます。では、アメリカンパンサー★の皆さん、よろしくお願いいたします。

○アメリカンパンサー★（加藤） 皆さん、こんにちは。

まず初めにこのメンバーの1人ずつ、自己紹介からさせていただきます。

僕は狛江第二中学校で生徒会長を務めさせていただいています加藤 匠です。吹奏楽部でホルンを吹いています。今日はよろしくお願いします。（拍手）



○アメリカンパンサー★（荒井） 狛江第一中学校の荒井 千香子です。同じく吹奏楽部でホルンを吹いています。お願いします。（拍手）

○アメリカンパンサー★（川崎） 狛江第四中学校の川崎 ナナミです。同じく吹奏

楽部でサックスを吹いています。今日はよろしくお願いします。（拍手）

○アメリカンパンサー★（佐々木） 狛江三中の佐々木 彩乃です。イラスト手芸部に入っています。今日はよろしくお願いします。（拍手）

○アメリカンパンサー★（桒^の本） 狛江二中の桒本 晃ノ介です。一番右にいる少し頼りない会長のサポートをしている副会長です。よろしくお願いします。（拍手）

○アメリカンパンサー★（井上） 今回サポーターを務めさせていただいています井上 桜です。よろしくお願いします。（拍手）

○アメリカンパンサー★（千代） 同じくサポーターをさせていただいております千代 眞理子と申します。このアメリカンパンサー★ですけれども、今自己紹介があったように、いろんな個性を持った子たちが集まりました。最初のうちはなかなか全員が揃うというのは難しかったのですが、回数を重ねるごとにみんなが揃うようになって、それぞれがそれぞれの持ち味をうまく出せるようになって本日に至った形になっております。



これから子どもたちが発表を行いますけれども、皆さん温かい目で見ていただきたいと思います。よろしくお願いします。（拍手）

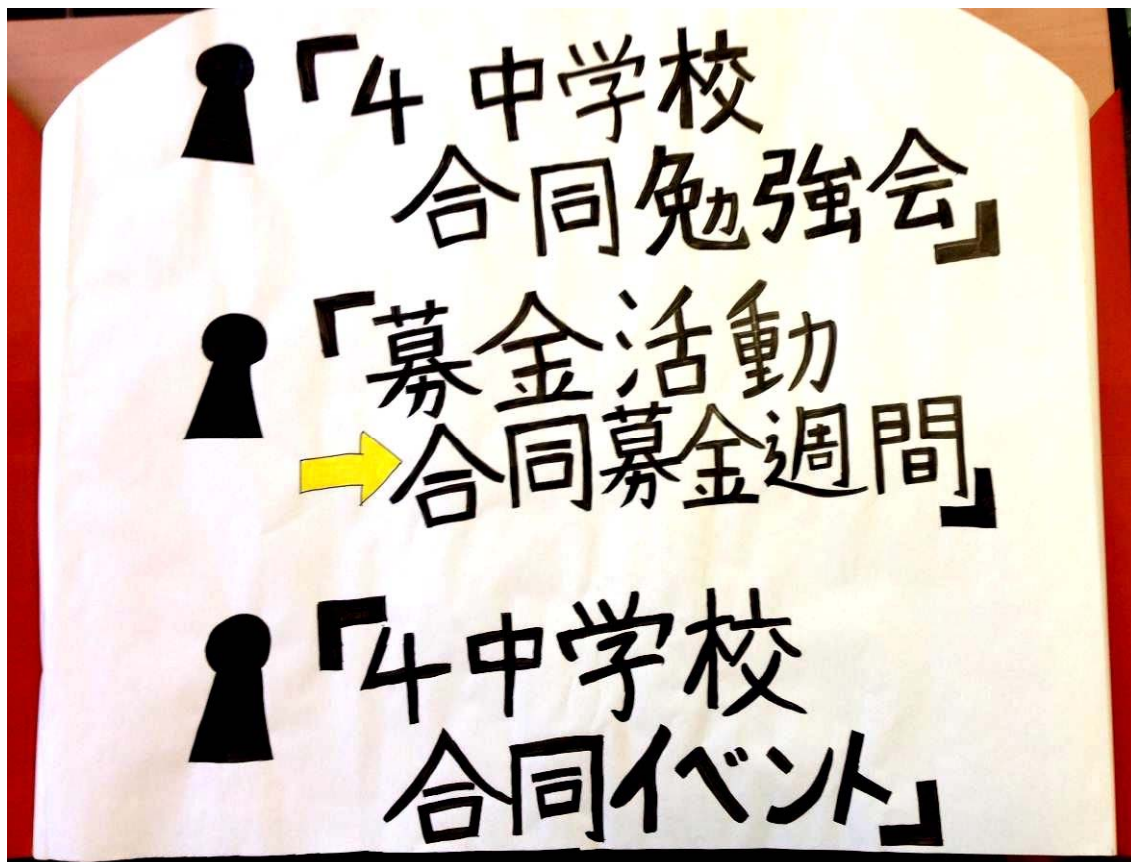
○アメリカンパンサー★（加藤） 次に、アメリカンパンサー★の名前の由来について説明します。

アメリカンは、メンバーの1人がアメリカ独立記念日生まれということからで、パンサーもメンバーの1人がパンサーというお笑い芸人が好きということから、そして★はグループ発足時に、これまたメンバーの1人が星のついていたパーカーを着ていたからという、奇跡の連続によってつくられたグループです。



このグループの目指すテーマは、狛江市内の中学生の関係が深められる、中学生の中学生による中学生のための居場所づくりです。このテーマを選んだ理由は、狛江市内には4つの中学校がありますが、各中学校の生徒は同じ中学校の生徒同士の関係は

深いですが、他校の生徒との関係は薄い傾向にあります。狛江市は小さな市です。私たちはその手助けがしたいと思い、このテーマを選びました。



さて皆さん、ようこそ狛江市未来への扉へ。皆さんは未来への扉の前に立っています。しかし、皆さんにはその扉をあける鍵がありません。私たちはその扉をあける事業という名の鍵を3つ用意しました。この鍵で狛江市の未来への扉をこれから開けていきましょう。



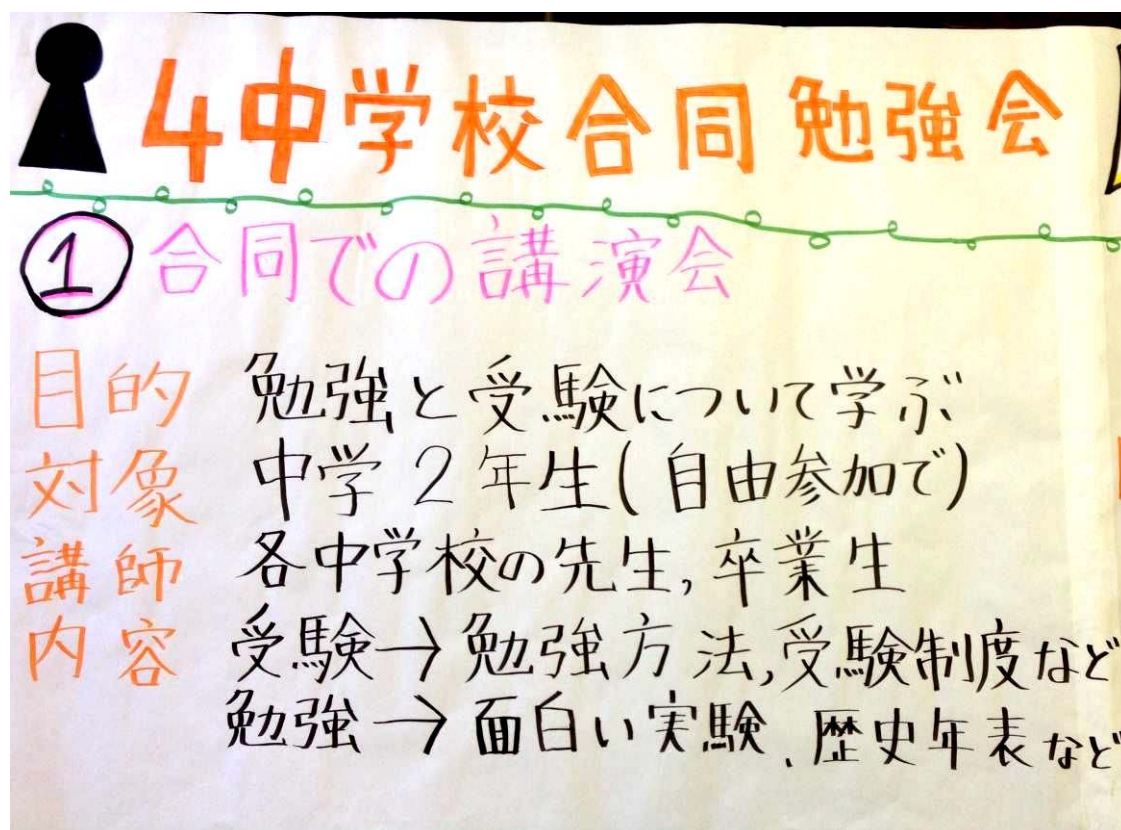
私たちのグループは、このテーマを実現させるために3つの事業を提案します。1つ目は四中学校合同勉強会、2つ目は募金活動、3つ目は四中学校合同イベントです。

それではこれから3つの事業の詳細について説明します。

○アメリカンパンサー★(荒井) まず事業1、狛江の四中学校合同勉強会について

説明します。

初めに、なぜこの事業を行うのかについてお話しします。1つ目は中学生同士が新しい関係をつくるために、勉強という形でみんなで同じ授業を受けて共有することです。2つ目は、自分の学校の先生ではない他の先生や人から授業を受けることで、自分の新しい発見があるということです。粕江に4つある中学校の中学生で行うことで、いつもとは違う協力や発見ができるので、中学生の勉強という居場所も強力になると考えています。



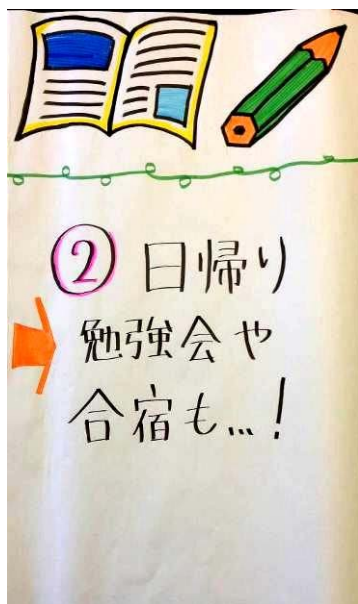
それではこの事業を実現させるための2つの方法を説明します。

1, 四中学校合同講演会を行う。4つの中学校から実行委員を募集し、計画を立てます。エコルマホールか体育館で講演会を行い、より多くの人に参加してもらえるようにします。対象は中学2年生で、内容は授業や受験に向けた勉強の仕方などです。

ではこれから、具体的にどのようなことを行いたいのかについて話します。例えば社会の歴史勉強紹介、理科でおもしろ実験など、より勉強が楽しくなるような授業の講演をいくつかやってもらい、その授業の途中途中に受験勉強の仕方や受験制度に



ついてなどを混ぜて説明していただきます。説明してくれる人は、例えば四中学校の先生方や、実際に少し前に受験を経験した卒業生に依頼したいと考えています。時期は夏休みなど大きな休みに行います。



準備として事前のアンケートでやりたい教科を聞く、日にちの打ち合わせをするなどがあります。

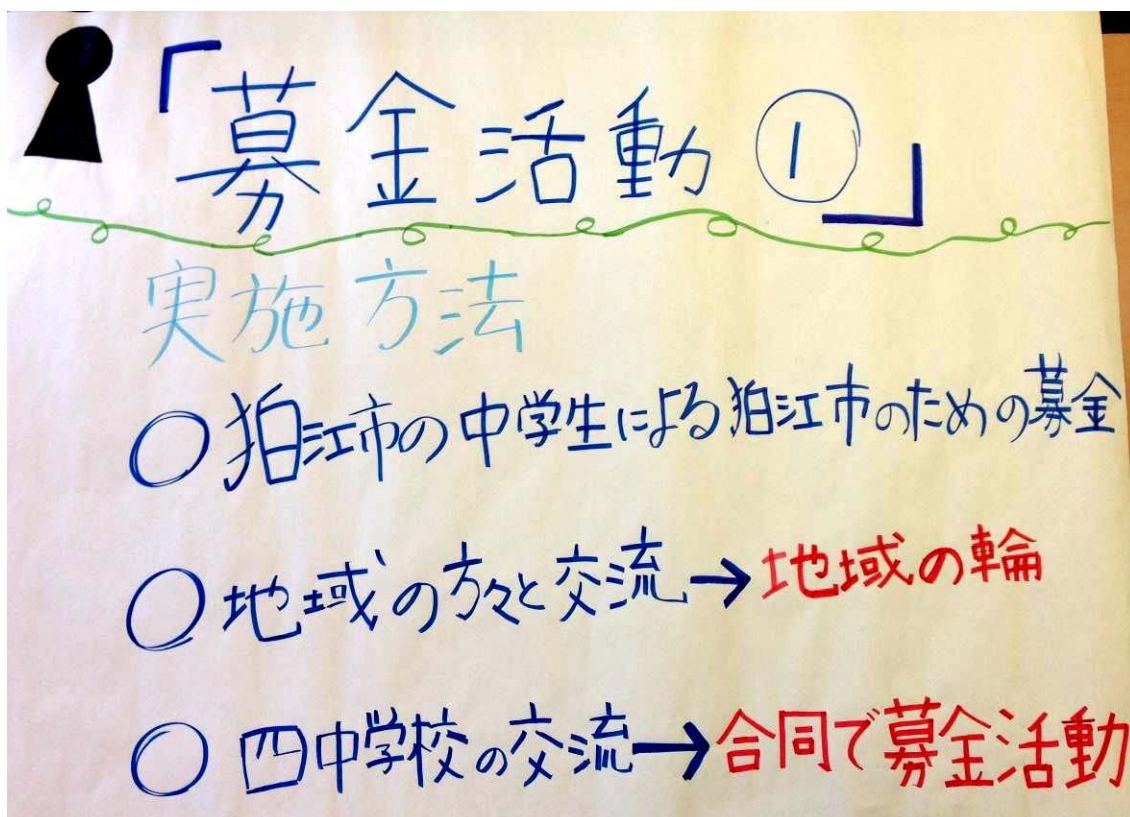
実現方法2、少し遠くに出て勉強会を行う。

募集の人数を1よりも減らし、かわりにバスなどで少し遠くへ行き、日帰りでの勉強会や合宿などで実際に自然に触れ合いながら理科の授業や文化の説明を行います。

内容は1と大体同じなので、方法1を何回か行い、結果を見てからこの方法について行ってみるのいいと考えています。

○アメリカンパンサー★(川崎) 次に事業2、募金活動について説明します。

最初にどうして募金活動を行うかということについてお話しします。



中学生の力でお金を集めることで、協力性などを養うことができ、また地域の方々にも参加していただくことで拍江市が活性化されたり、集めたお金で今回の大きなテ

ーマである、中学生のための居場所をつくることができると思うからです。その居場所としては、テスト勉強をできる自習施設や、中学生が集まって遊べる娯楽施設をつくったりという案があるので、それをもとに考えていきます。

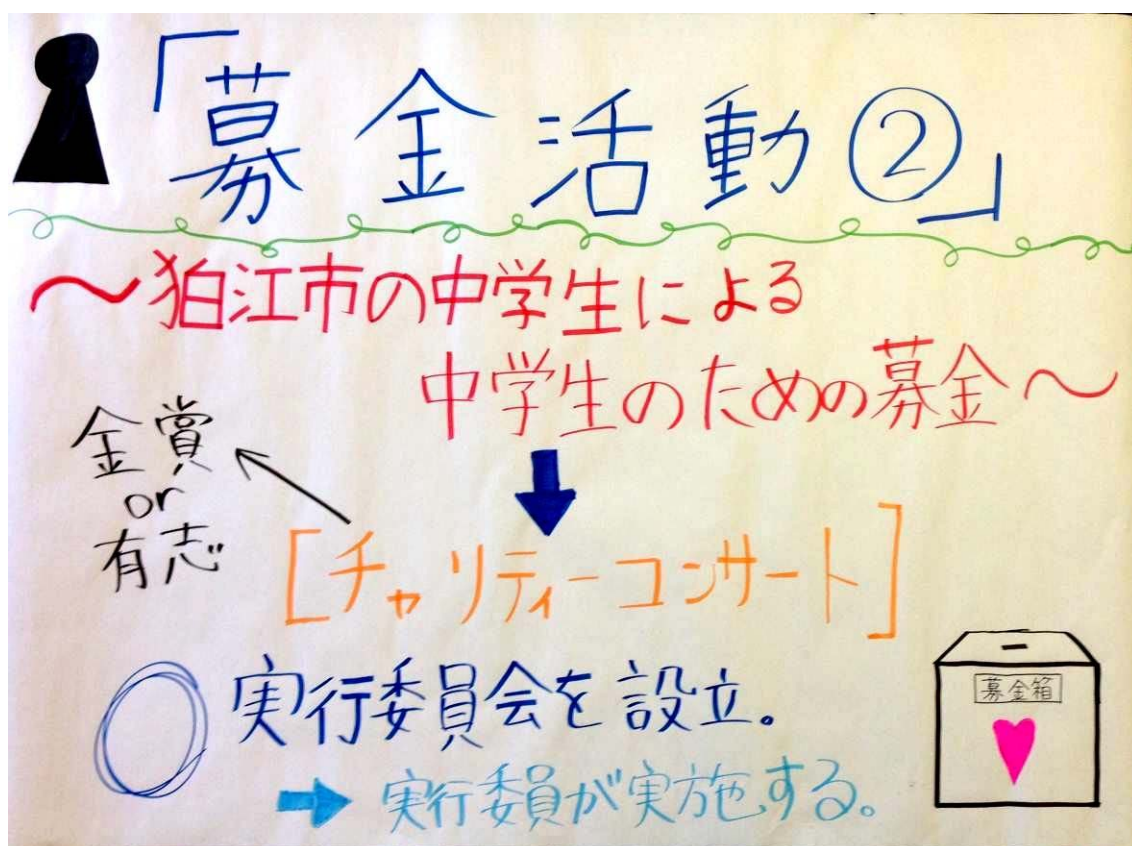
それでは、この事業を実現させるための3つの方法を説明します。

事業実施方法1，市民募金の実施です。狛江市の中学生が中心となり、地域の方々にも参加していただく募金活動です。具体例としましては、赤い羽根募金やユニセフ募金にならって、狛江市の中学生による中学生のための募金、地域の方々と交流するための募金、四中学校の交流



のために合同で募金を行う，ということが挙がりました。この募金で集まったお金は、学校の設備や行事等の運営費に使わせていただくということを考えています。地域の方にも参加していただくということで、地域の輪を広げていこうという考えも出ました。

○アメリカンパンサー★（佐々木） 続きまして、実現方法2，募金に参加してくれたお礼としてチャリティー合唱コンサートの実施です。



市民募金に参加してくれたお礼として、合唱をしようと考えています。出場者は市

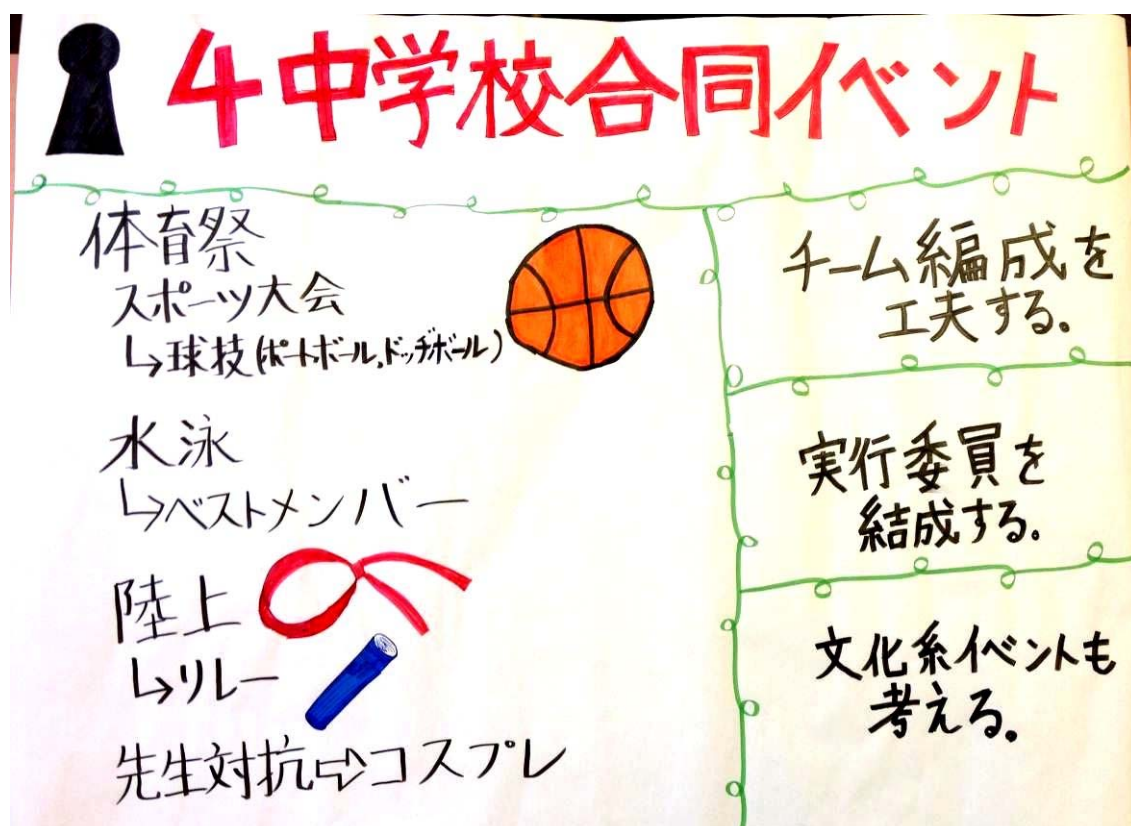
内四中学校の合唱コンクールで金賞をとった学級と有志での参加を考えています。運営は実行委員会を設立し、実行委員にしてもらおうと考えていて、実行委員におきましては各学校の代表生徒が集まって、実行委員ごとに役割を分担して行いたいと考えています。実施場所はエコルマホールでの開催を予定しています。練習場所は公民館の一室をお借りして練習するという案が出たので、それをもとに考えていこうということになりました。



最後に実現方法3、合同の募金週間を設ける方法です。今市内四中学校で行っている募金活動に加えて行うという、時間の都合が合わないという問題点が挙がったので、学校にいる生徒会役員が集まって、今行っている募金の日程を合わせるという結論にたどり着きました。

○アメリカンパンサー★（桎牟） 最後に事業3、四中学校合同イベントについて説明します。

初めに、なぜ今回のテーマを実現するために四中学校合同イベントを行うかお話しします。



それは生徒たちの力でイベントを行うということです。学校のイベントのほとんど

どは先生たちが運営を進めていきます。生徒たちも運営に参加することはありますが、それも結局先生方の指示で動いています。しかし今回僕たちが考えている四中学校合同イベントは、ほとんどのことを生徒たちが行おうと考えています。多少は先生方の協力が必要ですが、メインは生徒たちが動くと考えています。実行委員などを各学校から募集して結成し、その実行委員を中心にイベントの運営を行うということも考えています。自分たちでやるというところに今回のテーマを実現させるポイントがあると思います。

そして、この事業を実現させるためにスポーツ大会がいいのではないかと考えました。運動を通じて他校の生徒との交流が深められると思うからです。スポーツ大会といっても、特に球技、水泳、陸上の3つを行いたいと考えています。

まず1つ目の球技ですが、ドッジボールやポートボールなどが良いと思います。球技と言われてサッカーやバスケ、野球などを思い浮かべる方もいらっしゃると思います。しかしこれらの運動をスポーツ大会で行うとき、部活やクラブに所属している人ばかりが活躍して、他の人はあまり楽しめないなんていうことがあるかもしれないので、ドッジボールやポートボールなどが良いと考えました。

続いて2つ目の水泳ですが、全員がいったん水泳をするのは場所の関係もあって難しいので、メンバーを選抜して行っていきたいと考えています。



最後に、3つ目の陸上についてですが、リレーが良いと考えています。その理由としては、みんながルールを知っているし大きな準備も特に必要なく、それでも奥が深い競技だと思うからです。また、各中学校の先生たちが先生対抗で戦うのも良いと思います。その理由としては、いつも厳しく優しく見守ってくださる先生たちが、本気で勝負をしたり、コスプレをして面白おかしく戦ったりする、いつもとは違う先生の一面が見られると思うからです。先生対抗の種目があれば、先生たちはただ見ているだけでなく、実際に楽しめると思うからです。

最後に、これまでは種目の話をしていましたが、チーム編成についても話していきたいと思います。

なかなか4つの中学校がいったん集まるのは難しいことです。なので、各学校で



少人数のグループをつくり、当日他校の少人数グループと組むという形でチームをつくってみたいと考えています。そうしたら、チームづくりだけでもときどきわくわくが止まらないと思いませんか。

今まではスポーツ大会という内容でお話ししていましたが、スポーツ以外にも将棋やオセロなどの文化系イベントも考えていきたいと思います。

○アメリカンパンサー★（加藤） ここまでお話しした3つの事業ですが、全てに共通することは、四中学校の生徒会役員の交流が大切だということです。そのためにも今までは1年に1度行われてきた生徒会交流会をもっとたくさん行なうべきだと思います。

最後に、この役員が中心となって狛江市の中学校の活動を活発にしていきたいと思っています。



これでアメリカンパンサー★の発表を終わります。気をつけ、礼。（拍手）

○司会（大場） ありがとうございます。アメリカンパンサー★の発表でした。皆さん、もう一度拍手をお願いします。（拍手）

非常にまとまっていたわかりやすい発表だったと思っています。

では、こまえっしーの皆さん、出番です。先にアメリカンパンサー★の発表が終わりました。何か質問してみたいことがある人いませんか。ちょっと模造紙を前に並べましょう。お手元にもあるかと思いますが、こちらの方がカラフルですので、こちらでも改めてご覧いただきたいと思います。

こちらのグループは発表の模造紙を、鍵を使っているところのアイデアがすごく斬新でして、この鍵をつくるのに結構苦労していました。1時間ぐらいかかったかな。

○こまえっしー（山崎） 実行委員とかが集まって内容を練るのはどこでやるんですか。

○アメリカンパンサー★（加藤） それはどの場合についてですか。

○こまえっしー（山崎） 全てというか、3つともです。

○アメリカンパンサー★（加藤） まずは勉強会の方から。



○アメリカンパンサー★（荒井） 特にどこということとは決まっていないんですが、実行委員とかを決めた場合、その人たちの状況によってそのときに場所を考えていきたいと思っています。

○アメリカンパンサー★（加藤） 四中学校合同イベントの実行委員はどうですか。

○アメリカンパンサー★（桢牟） さっきもありましたとおり、実行委員になった人の状況などに合わせて決めたいと思うんですが、具体的な場所としましては、例えば各学校の教室をちょっとお借りしてやるなどということを考えております。

○司会（大場） ありがとうございます。他に、こまえっしーの皆さん、気になったことはありませんか。

○こまえっしー（豊田） 募金活動①の合同で募金活動をして、それを各校の施設とか行事に生かすということなんですが、例えば四中の方が一中より多く募金しているのに、それを合同に、同じように分けてそういう施設とかにお金を使ったら、それって公平なのかどうかというか、そこがちょっと疑問です。

○アメリカンパンサー★（加藤） 1年で、例えばこの1つの募金活動で貯まったものは、その貯まった分を、例えば四中が一番貯まったとしても、それを全部一中とか三中とか1つの学校で使うんじゃないくて、みんなで合同で行う募金なので、1回貯まったらそれは全ての学校が平等で使えるようにしたいなということです。

○こまえっしー（豊田） わかりました。

○司会（大場） どこか特定の学校の行事で使うんじゃないくて、共通で使えるものを何かするということですね。他はありますか、こまえっしーの皆さん。

では、私から。四中学校の合同勉強会の話は、よく意見も出て発表のテーマに選んだと思うんですけども、みんなそうかはわかりませんが、中学生って勉強は好きなのかなというところがあります。僕はそんなに好きではなかったんで、なぜこれをテーマに選んだのか、どういうところでこのテーマが出てきたかというのを少し教えてください。

○アメリカンパンサー★（加藤） 今この模造紙にも書いてあるとおり、対象は中学2年生と書いてあるんですけども、やっぱり粕江市のほとんどの人は大体高校から受験を経験することになると思います。そのときに、いつもどおりの学校の勉強とか家庭学習の勉強だと同じ勉強でも飽きてしまうという人が多分大半以上だと思うので、そこでやっぱり、いつ



もの学校の先生が教える数学、英語とかじゃなくて、例えば他の中学校の先生とか、新鮮な環境で数学とか英語とかを勉強した方が、記憶も成績もいいのかなと思いますし、2番の日帰り勉強会、合宿というのも、やっぱりまた違った環境での習得というので結構楽しいんじゃないかなと思いました。なので、それを具体的に考えてみようかなということで、四中学校合同勉強会をテーマとして挙げさせていただきました。

○司会（大場） ありがとうございます。では、今日先生がいらっしゃっているので、

先生にもちょっと聞いてみましょうか。校長先生が何名かいらっしやっていると伺っているのですが。すみません、突然お話を振りまして。こういったお話って、先生方の間で出たことってございますか。

○参加者 四中学校の合同の勉強会というのは、教員の方では出ていません。斬新なアイデアかなと思います。

○司会（大場） ありがとうございます。斬新だそうですよ。

他に先生はいらっしやっていますか。もしこういうのがあった場合、先生ご自身は講師としてやってみたいと思われませんか。

○参加者 狛江の生徒たちのためになるのであれば、校長の許可が出ればやりたいと思います。

○司会（大場） 前向きなご意見をありがとうございます。他に校長先生がいらっしやっていると伺っているのですが、どうでしょうか。

○参加者 生徒の方から勉強をしたいという声が出たということがすばらしいと思います。ぜひ先生方に授業をやってもらいたいと思っています。

○司会（大場） ありがとうございます。先生方からもいいご意見が出たので、この提案は 良いのではないかなと個人的にはすごく思います。他に何かありますか。

○こまえっしー（豊田） 今のいい流れに水を差すようですが、合同勉強会のところで対象を中学2年生にする意味って何ですか。

○アメリカンパンサー★（加藤） 中学1年生はやっぱり入学したてということで、まずは、例えば今僕は二中なんですけれども、今二中には元三小の人と六小の人が混ざって生活しているんですけれども、そこで友達をつくったりとかというのに多分手いっぱいなんじゃないかなというのがあります。中学3年生はこういう時期になると受験のことでとても忙しくなってきたりとかするので、やっぱりここは受験のことをしっかり前もって知って、受験について深く知りたいという中学2年生というのが一番いいんじゃないかなと思って、中学2年生を対象にしました。

○こまえっしー（豊田） ありがとうございます。

○司会（大場） ありがとうございます。最後に1つぐらい何か質問をしてもらいたいかなと思います。勉強会の話、募金の話は少し質問が出ましたけれども、合同イベントについてはまだあまり質問がきていないので、何かありますか。

○こまえっしー（豊田） 各校での行事がいっぱいあって、スケジュール的にきついと思うんですが、それはどうしようと思っていますか。

○アメリカンパンサー★（桒牟） 実際に開催する日は1日だけ、1年で1日あれば



いいと思うので、多分その1日なら何とか四中学校で調整をとれると思います。その準備は、さっきも言った実行委員が中心に進めてもらって準備をしていこうと思っているので、多分大丈夫だと思います。

○こまえっしー（豊田） ありがとうございます。

○司会（大場） 具体的もいつごろとかっていう話は会議の中で出ましたか。

○アメリカンパンサー★（桢牟） 特に具体的な日にちとかは出ていないんですけれども、多分どの中学校も体育祭が春あたりにあると思うので、夏とか秋ごろにできればいいんじゃないかなと考えています。

○司会（大場） 場所とかの話は出ましたか。

○アメリカンパンサー★（桢牟） 場所についても特に詳しく話は出ていないんですけれども、やっぱり四中学校の生徒が来るということで、例えば借りられたら市民グラウンドとかが適切なのではないかなと思います。

○司会（大場） わかりました。では、アメリカンパンサー★の発表についてはここで終わりにしたいと思います。皆さんありがとうございました。（拍手）

では続いてこまえっしーの発表になります。少し準備を行いますので5分程度お待ちください。

（3分間準備）



○司会（大場） お待たせいたしました。では続きまして2グループ目、2グループしかないので最後になります。こまえっしーの皆さんから中高生の居場所について発表をしていただきます。こまえっしーの皆さん、よろしくお願いします。

○こまえっしー（豊田） 今からこまえっしーの発表を始めます。気をつけ、礼。（拍手）

それではまず初めに、こまえっしーのメンバーの自己紹介をします。

僕は狛江第一中学校の2年です。豊田 歩です。好きな言葉は情熱です。（拍手）

○こまえっしー（小林） 狛江第四中学校から来ました、2年の小林 拓末です。好きな言葉は努力です。（拍手）

○こまえっしー（高田） 狛江第四中学校から来ました、2年の高田 友希子です。好きな言葉は音楽です。よろしくお願いします。（拍手）

○こまえっしー（細山） 狛江三中の1年、細山 颯太です。好きな言葉は愛情です。（拍手）

○こまえっしー（山崎） 狛江第三中学校2年の山崎 航輔です。好きな言葉は特にないです。よろしくお願いします。（拍手）

○こまえっしー（藤田） 狛江第二中学校2年の藤田 芳です。好きな言葉は美しいです。よろしくお願いします。（拍手）

○こまえっしー（石賀） 今回サポーターとして参加しています、石賀 万葵です。好きな言葉は、好きこそものの上手なれです。よろしくお願いします。（拍手）

○こまえっしー（宮谷） 今回社会人サポーターとして参加させていただいております宮谷 敏江です。好きな言葉は、継続は力なりです。

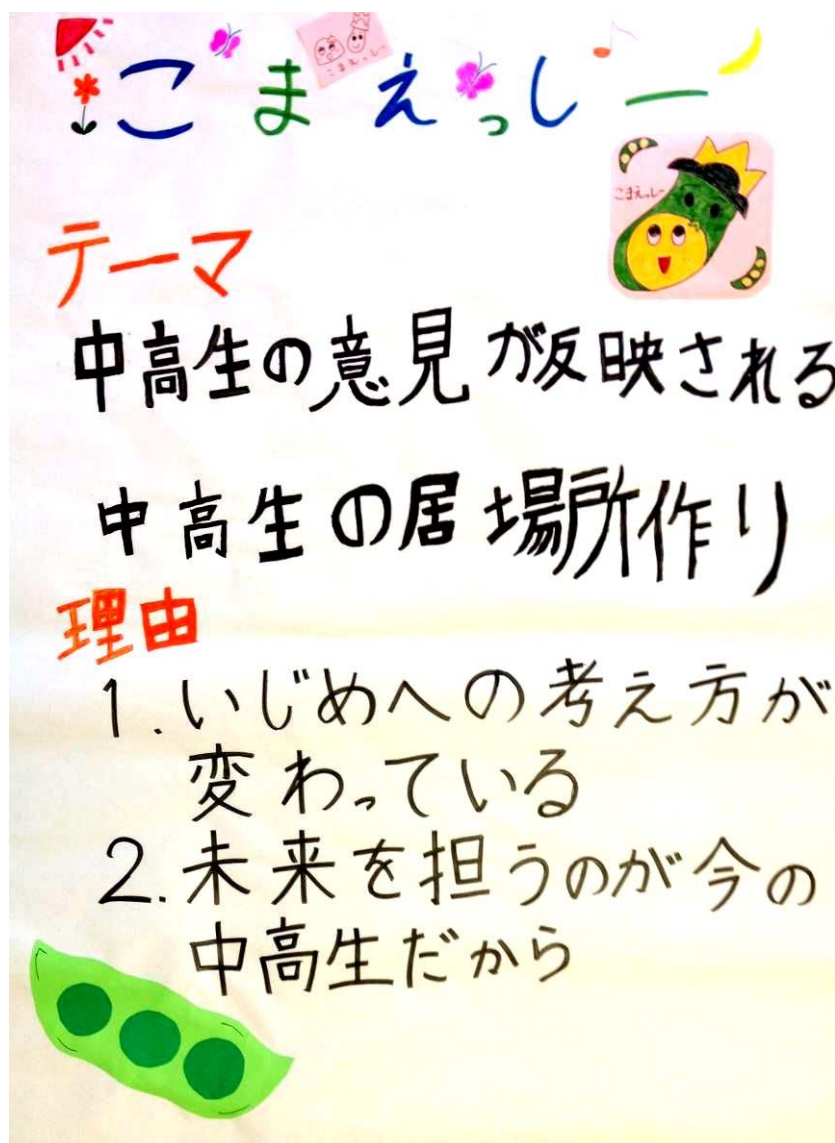
それでは、このこまえっしーの子どもたちの今日までに至る会議の状況を、お話しさせていただきたいと思います。

一番初めはこの人たちは初対面ですから、なかなか意見が活発には出なかったと思い



ます。静かに話がされていました。でも、ここに出てきてくれている子どもたちというのは自分の意見をしっかり持っていますし、それから人に伝えるということもきちんとできる子ですので、回を重ねるごとに意見がたくさん出て活発な会議になりました。活発な会議になるとそれぞれいろんな話も出てくるので、横道にそれるようなこともあったんですけども、彼らのすごいところは、今自分たちの会議が何をしなければいけないのか、何を話さなければいけないのかということを中心にいつも頭の中に入れていているところです。例えばこのメンバーの中で、もとに戻るぞとかやるぞとかって言うと、パッと会議に戻るんです。ですから順調に、例えば会議が滞ってしまうとかそういうことはなく、順調に全てのことが終わって今日を迎えています。

そんな彼らが一生懸命6カ月間頑張って考えたプランですので、ぜひとも温かい目で見ていただいて、聞いていただければと思います。どうぞよろしくお願いいたします。（拍手）



○こまえっしー（藤田） まずこまえっしーというグループ名について説明したいと思います。



こまえっしーとは、グループのメンバーの中に千葉県船橋市の非公認キャラクターであるふなっしーが好きな人がいて、そのふなっしーと狛江市をかけ合わせようということでこまえっしーとなりました。

私たちのグループの目指すテーマは、中高生の意見が反映される中高生の居場所づくりです。このテーマを選んだ理由は主に

2つあります。1つ目は中高生みんなが楽しい生活を送るためには中高生の居場所が必要だからです。最近の日本ではニュースで報道されているとおり、いじめの考え方が変化したり、いじめの定義が決められたりしています。昔はいじめられている人に何かしらの問題があり、必ずしもいじめている人が悪いという考え方ではありませんでした。しかし今は、その人が嫌がることをすればいじめている人が悪いという考え方になりました。いじめとは当該児童生徒が一定の人間関係のある者から心理的、物理的な攻撃を受けたことにより精神的な苦痛を感じているもの、という定義ができるほど、大人や保護者の方々の関心が高まっています。

私たちにいじめがあるのは、自分のクラス、学年での地位を守るためだと思います。自分が上にいたい、自分の地位が下がるのが怖いからいじめて自分の地位を守る。しかしそれは違うと思います。人々の居場所を細分化し、いてもいい場所が決められているのはおかしいのです。全員が同じ場所に同じ楽しさや苦しさを感じられる、それがいじめのない生活だと思います。

2つ目は、未来を担う人が今の中高生だからです。市民全員がリーダーになるというわけではありません。しかし、犯罪を犯す人や不良になる人、人に迷惑をかける人を少なくするために、生徒の考えを反映してもらえという幸せを知ってもらいたいです。

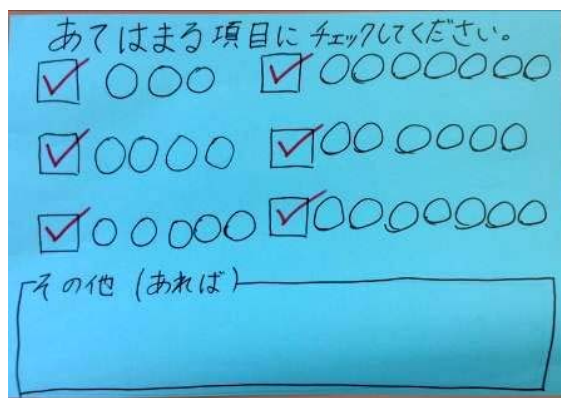
私たちのグループは、このテーマを実現するために3つの事業を提案します。



〇こまえっしー（山崎） 初めに事業1、アンケートについて説明します。

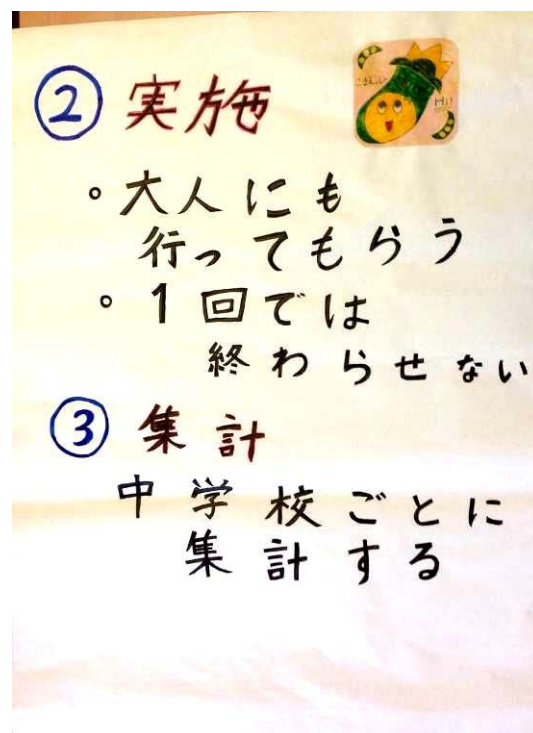
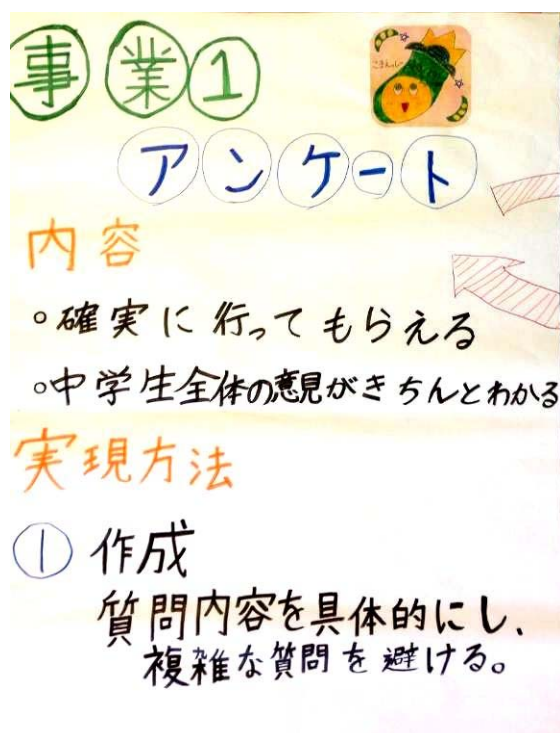
まずなぜアンケートにしたのかについて説明します。アンケートは集計するのは大変ですが、確実に行ってもらえる利点があります。意見箱のようにすると行わない人が出てきて、中学生全体の意見がきちんとわからないので、全員が行ってもらうことができ、中学生が何をしたいのか具体的に考えがわかるアンケートにしました。

私たちはこの事業を実現させるために3つの方法を考えました。



1, 内容作成。1 回目は市内四中学生に具体的に案を出し, 市内の中学生のしたいことやしてほしいこと, また現在行っているイベントを知っているかどうかについてアンケートをします。2 回目以降は, 実施したことについてアンケートを行います。質問内容は具体的にし, 複雑な質問は避けます。

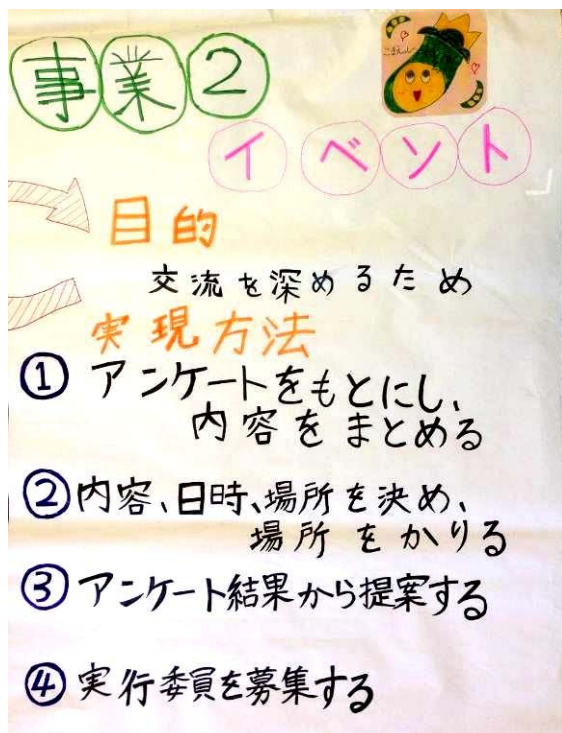
2, 実施。先生に許可や時間を取り, 市内四中学校の中学生にアンケートをとります。また 1 回では終わらせずに, 2 回目以降は実施したイベント会場でアンケートをとります。また, 生徒とは違う立場の意見をもらうために, 大人, 例えば先生や保護者にも行ってもらいます。



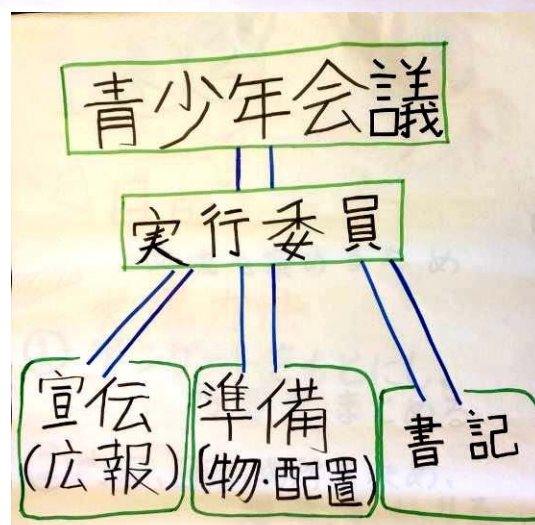
3, 集計・考察。アンケートを回収し, 中学校ごとに集計し, 四中学校の中学生が何をしたいのか, どうすれば実現できるのかをまとめ, 結論を出します。これをもとにして事業2を行います。

〇こまえっしー（小林） 次に事業2，イベントを実施するための方法について説明します。

この事業を実施する目的は，イベントをすることによって同じ楽しさを共有し，交流を深めるためです。この事業を実現するために5つの方法，手順を考えました。



- ⑤ ポスター、手紙による宣伝を行う
- ⑥ 地域のイベントに参加する



1つ目は，アンケートをもとにし，内容をまとめます。今中学生が何をしたいかをしっかりとまとめ，それを実施することによってより興味を持ってもらえるからです。

次に内容，日時，場所を決め，場所を借ります。

次にアンケート結果から提案します。提案は学校を使うのであれば学校，市内の公共の場を使うのであれば市役所に，それぞれの担当に提案します。

次に実行委員を募集します。実行委員を募集する理由は，より規模を大きくし，内容を濃くするためです。実行委員は各学校ごとに募集し，各学校ごとに役割を決めます。



例えば一中はポスターづくり，二中はお知らせ用の手紙づくり，三中，四中は使用するものの用意，当日の準備など，それぞれの学校ごとに役割を決め，集まらなくても仕事ができるようにします。そうすることにより仕事の効率を大幅に上げることができます。

次に決定事項や情報の拡散を行います。ポスターや手紙，SNSなどを使い，情報の拡散を行います。具体的にポスターは各学校や市内の掲示板に張り，手紙は各学校で配付し，SNSでは各学校と粕江市のホームページに掲載するという案が出ました。またその他にも，地域のイベントの一環として自分たちのイベントを実施するという案が出ました。



そして事業2を行ったら事業1をもう一度行い，継続させ，より良いものにしていきます。

〇こまえっしー（高田） 最後に事業3，スペースの利用について説明します。

事業③

スペース

目的 中高生の居場所を増やすため

借りるために...

- ①理由を明確にする。
- ②代表者を決める。
- ③借りやすくする。

フリースペースの
例 使い方を変える

スペースを利用する目的は、中高生の居場所を今よりも増やし、便利にするためです。この事業を実現させるために3つの方法を考えました。

まず最初に理由を明確にすることです。理由を明確にしなければスペースを利用することができません。なので私たちはしっかりとした理由を持つことが重要だと考えました。その理由は、中高生の意見が反映される中高生の居場所づくりのためです。例えばテストや受験での自習スペースが欲しい、中学生のイベントのために場所が借りたいなどの理由があります。

このことからつながる実現方法2は、借りやすくすることです。市の場所を使うか、学校を使うか、2種類の方法があります。学校の場合は空き教室も多く、先生にも頼みやすいため、理由を伝えてなるべく事前に借りられるかの確認をし、借りるようにします。一方、市の場所では地域センターなどの公共施設を中心に普段あまり使われていない場所を、利用日を決めて借りられるようにします。ただ学校と違ってこれには大人の責任者が必要になる場合があります。



ここでつながっていくのが実現方法3の、責任者を決めることです。これはより多くの場所を借りられるようになるだけではなく、子どもだけで利用するよりも大人の方にいてもらうことで信頼感が得られます。なので何回か繰り返し使いやすくなると考えました。この責任者は保護者などの身近にいる大人や市民団体の方に広報紙の募集などで申し込んでもらえるようにします。

こうして私たちは、中高生の意見が反映される、中高生の居場所づくりができるように考えました。

以上でこまえっしーの発表を終わります。気をつけ、礼。（拍手）

○司会（大場） こまえっしーの皆さん、ありがとうございました。

では今度は逆に、アメリカンパンサー★の皆さん、出番です。こちらのグループはアンケートを行ってイベントをやったら、またそれをもとにアンケートをとって、またイベントをやるというサイクルを考えてくれたんです。そこはなかなか出ない発想かなと個人的にも思っています。あとはスペース、中学生の居場所を増やすための事業ですね。

では、アメリカンパンサー★の皆さん、何かありますか。

○アメリカンパンサー★（桼本） イベントを行う前にアンケートを行うことは良いと思います。質問なんですが、事業2の①でアンケートを作成して内容をまとめると書いてありますが、そのアンケートは誰がつくるんですか。

○こまえっしー（山崎） ここに書いてあるように、最初は、実行委員を募集するま

では僕たちの青少年会議が行います。

○アメリカンパンサー★（桒本） ありがとうございます。

○アメリカンパンサー★（加藤） 実行委員を募集するというのは、こちらのグループとも同じ考えだと思って、すごくいいなと思ったんですけども、実行委員は大体学校で何名ぐらい出すということになっていますか。



○こまえっしー（小林） 特に人数は決めていないんですが、二、三人出たら各校でスムーズにことが進むと思うので、それぐらいがいいと思います。

○アメリカンパンサー★（加藤） ありがとうございました。

○司会（大場） 他にありますか。アンケートも一応例をつくってくれました。アンケートのつくり方には、確か何か工夫がありましたよね。

○こまえっしー（山崎） 答える人も多分面倒くさくなっちゃうので、チェック欄を多くして記述を少なくするように工夫してあります。

○司会（大場） ありがとうございます。

○アメリカンパンサー★（川崎） 今のアンケートに関してなんですけれども、作成の段階で複雑な質問を避けると書いてあるんですけども、具体的にどんなような内容にするのか決まっていますか。

○こまえっしー（山崎） 複雑なというよりも、具体的にこちらが提示して、それに答えるだけというようにして、テストみたいに記述式じゃないようにしています。内容はまだ決まっていません。

○アメリカンパンサー★（加藤） 実行委員をつくるうちに理由として、やっぱり集まらなくても作業がスムーズに進むというのがあって、それはいいと思ったんですけども、アンケートの中で、中学生全体の意見がきちんとわかるようにアンケートを行うと書いてあったんですけども、各中学校で行うときに意見をまとめるというのは、やっぱりどうしても集まらないといけないと思うんですけども、そういう場合はどうやって実行委員と合流しますか。

○こまえっしー（小林） 基本的に実行委員はこちらの、宣伝、準備、書記をやるので、アンケートは僕たちだけでやるというふうに話合っています。

○司会（大場） ありがとうございます。ここのグループはまずアンケートをとってから全てが始まるというところがあるので、アンケートをどうつくるかというところが肝になってくるかなと思います。この具体的な質問例で、どういう項目をつくるかというところが割と肝になるのかなと思っています。

職業柄そういうことをよくされる方、この中にいらっしゃいますか。もしいらっしゃれば、どういうことに気をつけてやった方がいいのかというのをアドバイスいただ

けると大変有難いです。

○参加者 日ごろ仕事で、関係業界の人にニーズを聞いたりするときにアンケートを出しています。当然書いてもらうということなので、やはり質問はわかりやすく、こちらから問いを具体的に書いてあげて、いいか悪いかとか単純な質問の方が答えやすいです。あとポイントを崩さないように、しっかりと自分たちが決めた目標に沿ったアンケートとなるように、一つ柱を持ってそれを必ず守っていくことが大切だと思います。

○司会（大場） ありがとうございます。今のお話ですと、内容として中学生全体の意見がきちんとわかるようにというのが重要だと思いますので、その内容がきちんと酌み取れるようなアンケートをつくらないとだめということですね。

○参加者 アンケートは、やるということに非常に意義があると思いますので、最初からあまり難しく考えちゃうとできなくなりますから、まずやって、それで回を重ねていくうちに改善していけばいいですから、最初からあまり何だかんだ考えないで、まずやるということを重要にしてやれば、皆さん若いからいいと思います。こういうのは大賛成です。

○司会（大場） 貴重なご意見をありがとうございます。アンケートばかりにお話が行ってしまいましたけれども、ほかの事業、イベント、スペースに関しても、アメリカンパンサー★の皆さん、何か質問はありますか。

○アメリカンパンサー★（荒井） アンケートとイベントを何回もやるという事業1と事業2のつながりはわかったんですが、1と2と3とのつながりをお伺いしたいと思います。

○こまえっしー（小林） 1を行って2を行ってというサイクルをずっとしていくためには、やっぱりイベントを行うためにスペースが必要で、そのスペースを、ずっとというわけではないんですけども、しっかりと借りられるようにということです。まずスペースがないと何もできず、イベントも実施されないの、スペースというのを事業3に入れました。



○アメリカンパンサー★（荒井） ありがとうございます。

○こまえっしー（大場） ありがとうございます。今の話だと1, 2, 3はどれが欠けてもだめということですか。他に質問はありますか。

○アメリカンパンサー★（加藤） 一番最後にフリースペースの使い方を変えると書いてあるんですけども、フリースペースというのは例えば例としてどこを考えていますか。

○こまえっしー（高田） フリースペースというのは、例として、野川地域センター

の場合、入って自販機の前にある誰でも使える場所や、図書室の横にある和室などの部屋のことを指しています。

○アメリカンパンサー★（加藤） ありがとうございました。

○司会（大場） ありがとうございます。ではそろそろお時間もありますので、最後の質問にしたいと思います。まだ質問していない人、どうぞ。

○アメリカンパンサー★（佐々木） フリースペースを借りるための②の代表者を決めるというところで、大人の人にやってもらうと言っていたんですけども、どのような大人の人にやってもらうんですか。

○こまえっしー（高田） 代表者は自分たちの両親や身近にいる大人など、地域の人に協力してもらいます。

○アメリカンパンサー★（佐々木） ありがとうございました。

○司会（大場） ありがとうございました。

では、こまえっしーの発表も以上で終わりたいと思います。こまえっしーの皆さん、ありがとうございました。（拍手）



少し駆け足になったところはあるかもしれませんが、2グループの発表が全て終わりました。同じ中学生でも2グループに分けてやると、これだけ意見の違いが出るんだなというところを皆さん実感していただけたのではないかと考えております。

2グループ終わったところですので、少し参加者の方にも感想を伺いたいと思っています。なんですけれども、どなたかお話ししてくださる方はいらっしゃいますでしょうか。

後ろの方、同級生の方ですか。もし良かったら感想を言ってくれますか。

○参加者 今回の2グループの意見を聞いて、自分は三中の生徒会長をやっているんですけども、それにも意見を取り入れられるものなどがあったので、とても勉強になりました。

○司会（大場） ありがとうございます。三中の参加者の方からも、ぜひ取り上げてもらうように推していきましょう。

他にどなたかご意見、ご感想をいただける方はいらっしゃいますでしょうか。

○参加者 今日は報告を聞かせていただいて、皆さん中学生でありながら、

活動の内容にしても報告の仕方にしても本当に感心しました。すばらしいなと思って



おります。自分が中学生のときを考えると、とても雲泥の差でありまして、今の中学生ってすごいなと改めて感心させていただきました。

そこでまずアメリカンパンサー★さんの方で、大変すばらしいことをやっていらっしゃると思ったのは、募金活動がありましたね。あれは学校のためと中学校のためというふうに限定していますけれども、私実は社会福祉協議会というところで仕事をしているんですけれども、皆さんにもいろいろ協力はしていただいているんですが、できればもっと広い意味で、いろいろ困っている人とかのためにも募金をするんだというふうにしていただけると大変嬉しいなと思うんです。お考えいただきたいと思います。

それからもう一つのこまえっしーさんの方で、居場所の問題でございますけれども、私もちょっと前まで保護司というのをやっていたんですが、犯罪や非行をした人たちが立ち直ろうとして努力をしても、まったくその人たちの居場所がないというのが一番今問題になっているんです。そういうことで皆さんも、中学生だけの居場所じゃなくて、これからいろんな意味で大人になって大きくなったら、社会的なそういうことも考えていただければいいかなと思います。

以上でございます。ありがとうございました。

○司会（大場） ありがとうございます。今こちらに名簿をいただきましたので、何人かの方にも、ちょっとご指名で申し訳ないんですけれども、感想を伺わせていただければと思います。

ではまず、副市長のご意見を伺わせていただけますでしょうか。

○水野副市長 非常にすばらしい発表をありがとうございました。

私が中学校のときと照らし合わせますと、本当にみんなの前で発表するなんて嫌で嫌でしようがなかったというのを思い出します。皆さん本当に手分けしていいチームワークで発表していたと思います。

市としましては、これから市民活動支援センターというのが平成28年の開設に向けて今動いていくところでございます。この市民活動支援センターというのは居場所づくりの場でもあります。学校を超えた、例えばサークルをつくりたいということであれば、そこでマッチング機能というものもありますし、情報発信して同好の士を集めるとかそういったこともできるような施設を考えているところでございますので、居場所の場として利用していただけたらと思います。よろしくお願いします。今日はすばらしい発表をありがとうございました。（拍手）

○司会（大場） ありがとうございました。続きまして、櫻井会長、ご感想をお願いします。



○櫻井会長 私は最初の話の中で、今日がゴールではありませんという話をしました。でも皆さんの発表の中にもこれから続けていかれるというようなことがありました。打ち合わせたわけではないですし、皆さんとそのことについて1回も話をしたこともないんですけれども、たまたま気持ちの上で一緒になってしまった。大変私もうれしく思っております。ぜひ、さっきもお話ししましたように、この輪を広げて、皆さんが今日提案したことを実現するよう頑張ってください。応援したいと思います。ありがとうございました。（拍手）

○司会（大場） ありがとうございます。あと、市議の方も何名か本日いらっしゃっているとここではあるんですけれども、どなたかお1人で構わないんですが、感想等をいただけますでしょうか。お願いいたします。

○参加者 中学生の皆さん、本当に今日の発表をありがとうございました。私もかつて普通の14歳の中学生でございましたけれども、やはりこういう発表をするというような機会もなかったし、本当に感動いたしました。

特に中学生って一番忙しい時期ではないかなと思っているんです。部活などもあるし勉強もやらなきゃいけないし。そういう中で6ヵ月という短期間の中で、しかも4つの学校が集まって議論されたという点で、そして今日の発表というのは本当に、2つの特徴あるグループでそれぞれが大変すばらしかったなというふうに思っております。

この間ずっと何回か、私たちもこの場に参加させていただきましたけれども、やはり中学生の居場所、あるいは4つの学校が交流したいということ、これはずっと発表されていたかなと思います。やはりこれを実際に実現させていくということが、改めて大事だということかなと思いました。それは中学生の皆さんだけに託すんじゃなくて、やはり私たち議員としても、あるいは行政にもこういう問題を投げかけて実現させていくために少しでも頑張っていけたらなというふうに思いました。今日は本当にありがとうございました。（拍手）

○司会（大場） ありがとうございます。

では、ここで一旦5分ほど休憩をとりまして、最後、総評という形にさせていただきますと思います。ではまた27分に再開いたしますので、一旦休憩といたします。

（5分間休憩）

○上田課長 それでは皆様、席の方にお戻りになられたでしょうか。続きをさせていただきますと思います。よろしくお願いします。

ファシリテーターの大場さん、いろいろありがとうございました。お疲れさまでした。

それから青少年会議の皆さんは大変すばらしい発表で、本当にありがとうございました。ちょっとほっとしていると思いますが、最後まできちんと、講評をいただくま

でしっかりしててください。

それでは、全体の講評ということで、青少年問題協議会副会長の長田輝男先生からお言葉を頂戴したいと思います。よろしくお願いします。

○青少年問題協議会副会長（長田） 今ご紹介いただきました長田と申します。

まず初めに、半年間という長い時間をかけて積み上げてきた中学生の皆さん、大変ご苦労さまでした。その間にはいろいろなことがあったと思います。また、サポートをしていただいた大人の方々、あるいは会議のお膳立てをしてくださった事務局の方、あるいは本日お集まりの皆様方、皆様方に厚くお礼を申し上げます。

私はこれで4回目ですから、8年間この中学生の会議を見てきました。それで今日、まず初めに言っておきたいことは、参加者が非常に豪華な顔ぶれだということです。参加者の顔ぶれが豪華であるということは、それだけ中学生の皆さんが考えたことの実現性が高くなったということだろうと思います。例えば議会の方、あるいは校長先生、あるいは中学校の先生方、あるいはお友達の中学生の皆さん、そういうことで非常に幅広い方々に今日来ていただいている。これは今までにちょっとなかったことではないか、そんなふうに感じております。

全体的な感想ですけれども、今までにない新しいことがたくさん、今日のこの発表会には出ておりました。まずは発表の仕方、これが大変上手でした。ちょっと早口のところもありましたけれども、非常に上手に発表されていた。それで、今までになかったことですがグループを2グループに絞ったということが、これは聞く側にとっては集中できたということ



ことで、これも大変良かったのではないかと。そういう意味では今回の中学生の発表会は、今後の大きなステップになっていくだろうというふうに思っています。

それでは内容について簡単にお話しをいたします。

まずアメリカンパンサー★ですね。夢の扉が出てきました。なるほどなと思いました。ホワイトボードの使い方がとても良かった。裏返して使うとか、そういった面で大変新しさがそこに出ておりました。内容につきましては、例えば合同の講演会を開こうとか、日帰りの勉強会をやろうとか、募金活動をやろうとか、チャリティーコンサートをやろうとか、その底辺に流れているのは人と人との交流ということだと思います。中学生の皆さんが人と人との交流がとても大事なんだよということを、実感を持って発表できたというところが大変すばらしかった。本当にそのとおりですね。何となく世の中がぎすぎすしている感じがなきにしもあらず。でもこの若い中学生の皆さんが、人と人との交流がこんなにも大事なんだと、だからこういうことを実行していきたいと、そういうふうに力を込めて発表したと。そこが大変すばらしかったと思

います。

特にチャリティーコンサートを開こうじゃないかと、これは募金活動の一環ですけども、これも非常に斬新な考え方で、実現性もかなりあるのではないかと思います。

それで、実施するには実行委員会を自分たちで立ち上げると。スポーツの交流にしてもそうですけれども、また陸上みたいに、リレーみたいに単純なものもいいとか、あるいはポートボールとかドッジボールみたいに誰にでもできる競技を取り上げてみようとか、こういうふうに深く掘り下げて考えたところが大変すばらしかったことでございます。

四中学校の生徒会の交流については、私は狛江二中に最後は勤めておりましたけれども、そのころ始まったことで、これは10年も前のことですが、それがいまだに続いているというのは嬉しいことです。それを年1回ではなくて年数回行っていこうという提案が中にありました。これはぜひやってもらいたいと思います。皆さんが大事にしようとしている交流、その原動力は生徒会の交流です。ぜひ先生方に働きかけて、僕たちがやりたいんだということで実現をさせてもらいたいと思います。

それから次にこまっしーの発表ですが、これは今までになかったことです。アンケートをとって、自分たちが提案するのではなくて、アンケートを集約してみんなの考えを知りながら、そこから1歩踏み出していこうというこの提案、これは大変すばらしい。今までになかったことです。アンケートをとるのは大変だけれども、まずは自分たち、この青少年会議に参加した自分たち中学生がアンケートをとって、それで集計をして、その中で実行委員会をつくっていくという、よくそこまで幅広く考えることができたなと感心しております。

いろんなことをやるにはスペースの問題もございます。学校ならば自分たちだけで使用できるけれども、公共施設だったら大人が使わなければだめだから、では、これはこういうところに頼もうとか、いろんな考え方が反映されていて、よくここまで中学生でありながら知っているなということで感心いたしました。

これはアンケートをとってみなければ始まりませんので、ぜひ皆さんの方で今後、役所で相談する場所を借りながら深めていただきたいと思います。スペースの1つとして、この防災センターの会議室なんかはいいですね。中学生が交流するのに開放してもらえ、そういったことも含めて今後役所の方たちと相談を積み上げていただければと思います。

それから最後になりますけれども、これも今までになかったことです。会場からの大人のアドバイス。大変すばらしかった。アンケートに関してのアドバイス、あるいは激励の言葉がありました。そういう大人の励ましの言葉がどれだけ中学生の支えになるかという、これは中学校に勤めた私ですのでよくわかります。本当にありがとうございました。

それでは講評、大変雑でございましたけれども、以上で終わりにさせていただきます。ありがとうございました。（拍手）

○上田課長 1時間半を超える長時間にわたりご参加いただきました皆さん、ありがとうございました。また今までご協力いただいた方、今日ご参加の方も含めまして、この場を借りてお礼を申し上げたいと思います。

それでは青少年会議報告会の閉会の挨拶を、児童青少年部長の松坂からさせていただきます。

○松坂部長 中学生の皆さん、それからサポーターの皆様、ご苦労さまでした。50名を超えるお客さんを前に、自分の言いたいことをちゃんとしゃべれましたでしょうか。満足できましたか。では、良かったです。初めて知らない人と会議を重ねて、それで結果を出して発表するという、これはこれから皆さんにとって大変役立つと思います。いい経験だと思います。

児童青少年課では、これから中高生フェスティバルというのを実施する予定になっています。そちらでもこういう実行委員形式でやりまして、自分たちで決めて発表するという場があります。それからまたもうちょっと年齢がいきますと、成人式、こちらでも実行委員形式でやって、現に青少年会議の人たちが参加して、今年の成人式はやっていただきました。また皆さんにもそういうふうに参加いただきたいと思います。よろしくお願いします。

今回の青少年会議に当たりまして、ここまで多くの支援、ご指導をいただきました保護者の皆様、それから学校関係者の皆様も、改めてお礼を申し上げます。

以上をもちまして、青少年会議の報告会を閉会とさせていただきます。本日は誠にありがとうございました。（拍手）



青少年会議に参加してのアンケート

○得たことや感じたこと、工夫したほうが良い点、反省点など（原文のまま）

【中学生編】

- ・自分が今、中学生なので、中高生の居場所について考えられて良い経験になったなと感じました。自分一人では意見を出すだけで終わってしまうけれど、同じくらいの学年の人と、そして別の学校の人と色々な話をすることで、もっともっと意見を深められるんだと感じ、もっと色々な人と話し合ってみたいなと思います。これで終わりとは思えないくらい楽しかったので、今回話し合っただけで決めたことを、このメンバーで現実に行えば良いなと思いました。
- ・少人数でも意見を活発に出せたのが良かったと思うし、楽しかった。この体験を将来の自分、今の自分に生かしていきたい。また、もっと話を深くするために、回数を増やしたり、サポーターの方のアドバイスだけでなく、自分たちの間でもアドバイスをし合った方がよいと思う。
- ・楽しんでこの会議にのぞむことができた。また、本番でも少し緊張はしたが、ゆっくりとききやすい発表をすることができた。
- ・六ヶ月間という長い期間この会議をとおして、実に多くのことを学ぶことができました。この経験は、これからもなかなかすることは無いとおもうので、活かしていきたいです。
- ・得たこと 他生徒との交流。コミュニケーション能力。
 感じたこと 交流の大変さ。自分の意見をまとめる難しさ。
 工夫したほうがよい点 「2時間」って意外と長い。ふせん、模造紙の使い方。
 反省点 人数がもう少しいるといい。宿題はなるべくなくしてほしい。
 サポーターの存在は大きかったです。私たちには浮かばなかった疑問に 気づかせてもらいました。
- ・げんこうをできるだけ、見ないようにしたかった。さしぼうの練習をした方が良かったと思う。楽しくできた。他校の人とも、関わりをもてたので良かった。
- ・読みこみが少なかった。他校の人と交流ができてよかった。
- ・9月から半年間かけて青少年会議をやってきて、他校の人たちと意見を交わんして、1つのことにたくさんの意見を出すことができるんだなと思いました。本当に楽しく半年間できたので良かったです。良い経験ができました。
- ・他校の人との関わりができ、物事の考え方や視野が広がり、深まったと思いました。多くの大人を前に15分程の発表でしたが、凄く勇気がいりました。でも、しっかりとやってきたことを発表し伝えられたと思います。それは、発表後の開放感と達成感で分かりました。早口にならないように気をつけま

した。参加してみて、良かったです。

- 他中の子たちとの交流、意見交換ができた。狛江市や、次世代を担う自分たちの意見を副市長さんたちに伝えることができたのでよかった。グループメンバー全員で集まるときが少なく、集まれるときを設けられればよかった。
- 事前確認がしっかりできていなかった。何事も細やかなことまで決め、しっかりと準備しておくことが大切だと思った。この少人数でここまで話しを深くして、しっかりと会議ができてとてもよかった。

【リーダー・サポーター編】

- 今日の発表はすばらしかったと思います。今まで長い間良くがんばりました。6ヶ月間の出来事はきっと皆さんに、今後プラスになると思います。これからも狛江をになう若者として、いろいろな企画に参加し、また企画を立てる側の人になって下さい。
- サポーターとして初めてやる事がたくさんあるので少し大変だった。けど、中学生たちが本当に真面目にやってくれてとても助かりました。みんな、素直に色々な事に挑戦してくれてうれしかったです。これから、その心をもって頑張ってもらいたいです。社会人サポーターさん、事務のみなさん、担当の方とてもお世話になりました。おつかれ様でした。ありがとうございました。
- この青少年会議は、高校生である私にとっても大きな経験になった。狛江が小さい市であるからこそ、中高生が近くで集まることができ、その意見を市の中心にいる方々に聴いていただける。この素晴らしい環境を生かしていきたい。確かに、今回の提案は実現するのに時間がかかるかもしれないが、自分達の市のことを考えるのにはとても良い機会だった。
- もう少し色々な方の意見を聞き出すことができれば、会議が盛り上がったかな…と思っています。グループ毎の発表準備の境目でもう少し休けい時間を設けるべきだった。中学生が生き生きしながら発表してくれていたのも見ていて良かったです。何より「楽しい」と感想を言ってくれていたのがとても嬉しかったです。

○次回の青少年会議に参加する中学生へ一言

【中学生編】

- 最初はあまり活発な意見は出ないけれど、そこで意見を出してみると、なにか先につながるものがあるのかなと思います。一緒にやる周りの人はあなたも含めて学校のリーダーばかりです。ぜひ最後まで楽しい会議をして、より良い意見を出してみてください！！

- がんばって下さい！楽しんで下さい！
- 魂気！！楽しんで！！enjoy enjoy！！
- 頑張れ！
- 一番最初のアイスブレイクは人間知恵の輪がいいと思います。最初はきまずいね！でも2月には仲良くなっているはず。がんばれ！
- がんばれ！自分から話そ～
- きんちょうしないように、がんばってください。
- 大変な事もあるかもしれないけれど、楽しい事もたくさんあるので頑張ってください。
- 最初は戸惑う事も多いかもしれませんが、回を重ねていくうちに楽しくなります。半年間、頑張ってください。
- 最初は意見も出ずに大変だけど、グループのメンバーと打ちとけていくうちに活発に意見がでるようになります。頑張ってください！！
- がんばってください。

【リーダー・サポーター編】

- 勉強にクラブに…といろいろな面で今日の様な力を発揮して下さい。がんばれ、粕江の若者！
- 中学生生活の中でも、とても大きな経験なと思います。中学生のかかわりがとても大きなつながりになって、今後のいい経験になると思います。頑張ってください。
- 自分達で意見を出して、まとめて、大人を前に発表する。大変そう、難しそうに思うかもしれないが、他の中学生との交流を楽しんで、住んでいる粕江について考えてみてほしい。

青少年会議開催日及び主な内容

日 時	場 所	主 な 議 題
<研修会> 平成 26 年 8 月 26 日（火） 午前 9 時 30 分～11 時 10 分	高 架 下 103・104 会議室	○青少年会議の概要説明 ○中学生・サポーター自己紹介 ○テーマの説明 ○児童館の紹介 ○青少年育成委員会の紹介 ○青少年委員の紹介 ○その他事業の紹介（KoKoA、地域センター、公民館など）
<第 1 回> 平成 26 年 9 月 7 日（日） 午前 10 時～午後 0 時 10 分	防 災 セ ン タ ー 302・303 会議室	○青少年会議の概要説明 ○アイスブレイク～バースデライン～ ○チーム作り ○キャンプネーム決定、自己紹介 ○グループ名決定 ○ワークショップ『動物園にいる動物』『中学生になってわかったこと』 ブレインストーミングと KJ 法
<第 2 回> 平成 26 年 10 月 18 日（土） 午前 10 時～午後 0 時	市 役 所 502・503 会議室	○アイスブレイク～あと出しじゃんけん～ ○ワークショップ『中学生になってからやりたいと思っていたこと』『もっとやってみたいこと、変えたいこと、できていないこと』 ブレインストーミングと KJ 法
<第 3 回> 平成 26 年 11 月 8 日（土） 午前 10 時～11 時 40 分	市 役 所 502・503 会議室	○アイスブレイク～+2～ ○ワークショップ『もっとやってみたいこと、変えたいこと、できていないこと』『実現したいこと』 ブレインストーミングと KJ 法
<第 4 回> 平成 26 年 11 月 30 日（日） 午前 9 時 30 分～11 時 45 分	市 役 所 502・503 会議室	○アイスブレイク～人間知恵の輪～ ○ワークショップ『なぜ実現できていないか』『実現する方法』 ブレインストーミングと KJ 法
<第 5 回> 平成 26 年 12 月 7 日（日） 午後 3 時～5 時	市 役 所 502・503 会議室	○アイスブレイク～人間知恵の輪 “リベンジ” ～ ○ワークショップ『各グループのテーマ』『テーマを選んだ理由』『テーマを実現させるための 3 つの事業』
<第 6 回> 平成 27 年 1 月 18 日（日） 午前 10 時～午後 0 時 15 分	市 役 所 502・503 会議室	○ワークショップ『3 つの事業を実現させる方法』 ブレインストーミングと KJ 法 『シナリオ担当』『模造紙のデザイン担当』

<第7回> 平成27年1月31日(土) 午前10時～午後0時	市 役 所 特 別 会 議 室	○こまえっしーの模造紙・シナリオ作成①
平成27年2月7日(土) 午前10時～午後0時	市 役 所 502・503 会議室	○アメリカンパンサー★の模造紙・シナリオ作成①
<第7回つづき> 平成27年2月8日(日) 午後2時～4時	市 役 所 502・503 会議室	○アメリカンパンサー★の模造紙・シナリオ作成②
平成27年2月14日(土) 午前10時～午後0時	市 役 所 502・503 会議室	○こまえっしーの模造紙・シナリオ作成②
<リハーサル> 平成27年2月22日(日) 午前10時～午後1時30分	防 災 セ ン タ ー 401・402・403 会 議 室	○グループ発表練習 ○報告会の最終説明
<報告会> 平成27年2月22日(日) 午後2時～4時	防 災 セ ン タ ー 401・402・403 会 議 室	○青少年会議の概要説明 ○グループ発表『中高生の居場所づくり』、他グループから質問 ○講評

青少年会議参加中学生一覧

中学 / 学年	氏 名	グループ
一中 2年	荒井 千香子	アメリカンパンサー★
一中 2年	豊田 歩	こまえっしー
二中 2年	加藤 匠	アメリカンパンサー★
二中 2年	埜本 晃ノ介	アメリカンパンサー★
二中 2年	藤田 芳	こまえっしー
三中 1年	細山 颯太	こまえっしー
三中 2年	山崎 航輔	こまえっしー
三中 2年	佐々木 彩乃	アメリカンパンサー★
四中 2年	川崎 ナナミ	アメリカンパンサー★
四中 2年	高田 友希子	こまえっしー
四中 2年	小林 拓未	こまえっしー

青少年会議協力者一覧

役 割 等	氏 名	グループ
ファシリテーター	大場 悠	
サポーター	千代 眞理子	アメリカンパンサー★
サポーター	宮谷 敏江	こまえっしー
サポーター	三角 久美子	こまえっしー
サポーター	三竹 真知子	アメリカンパンサー★
サポーター	富永 恵仁	こまえっしー
サポーター	小林 淳史	アメリカンパンサー★
サポーター	石賀 咲葵	こまえっしー
サポーター	杉本 綾亨	アメリカンパンサー★
サポーター	石賀 万葵	こまえっしー
サポーター	井上 桜	アメリカンパンサー★
サポーター	高野 翔太	こまえっしー

報告会アンケート集計結果（アンケート回収27件）

1. 本日の会議を何で知りましたか。（重複回答あり）

HP（1） チラシ・ポスター（0） 友人・知人（3）
 案内状（14） 広報こまえ（0）
 その他（9）〔青少年問題協議会小委員会、保護者、議員への案内、育成委員、
 青少協だより〕 無記入（2）

2. 本日の内容はいかがでしたでしょうか。

非常に良かった（17） 良かった（8） ふつう（0）
 あまり良くなかった（0） 良くなかった（0）
 その他（0） 無記入（2）

3. 本日の会議の感想をお願いします。（原文のまま）

- ・ 会議の内容については大変良かったと思います。
- ・ 生徒は非常によく取り組んでいた。
日ごろの学校での学習の成果が出ていた。すばらしい！
- ・ 両チームともよく考えられていると思いました。中学生の持っている力をおおいに感じました。
- ・ 興味深い意見ばかりでとても楽しめた。とても参考になったので、自分のことでも生かしたいと思う。
- ・ 同じ中学生として狛江市のために討論をしていることがすごいと思った。新しい取り組みばかりで実現に向けてさらに動いていかなければいけないのでそれに協力したいと思った。
- ・ 具体的な内容であった。実現可能な内容が多かった。
- ・ 大変たのしく感じました。素晴らしい！
- ・ アメリカンパンサー、わかりやすいプレゼンでした。中学生の時からKJ法を使っただけの問題解決法は彼等にとって意義深いと思った。
- ・ 中学生がこんなことを考えるのか？と思いました。すごいと思いました。
- ・ 居場所づくりは古くて新しい問題です。会議で言いつばなし、聞きつばなしにならないよう対処が必要である。
- ・ 非常に良かったです。“何かをやる”⇒“動く”ことに意義があると思います。
“何をやる”という幹の部分を決めて“いろいろな方法”（枝葉）は後から決めていけば良いと思います。“何かをやる”“まず動く”という事が重要だと思います。失敗を恐れず！
- ・ とにかく実行させてみるのが教育上、一番現実を経験し理解できるのだと思います。

- ・発表した生徒さんたちはかなりしっかりしていると感服しました。
- ・しっかりした発表だと思いました。大変お世話になりました。
- ・同じ中学生としてこのような事業などには協力していきたいと思った。自分の生徒会本部としての活動としても、四中学校で協力したり団結したりしてみたいと思った。
- ・中学生による中学生のための…の考え方が生かされればいいなと思います。大人がつぶしてしまわないように。
- ・発表の仕方も工夫されていて、とても良かったです。
- ・子どもたちが自分たちの力でまとめあげた感がよい。しっかり受け答えをしていました。
- ・ファシリテーターの場が温まる様な進行がすばらしかった。お互いのグループから質問がある事で、より深く内容を知る事ができた。
- ・6ヶ月という短期間、しかも忙しい中学生が集まってここまで論議できたことはすばらしいと思いました。発表も良かったのと同時に質問も適確で感心しました。
- ・この日を迎え、本当にお疲れ様でした！中学生の発表もハキハキとしていて元気で良かったと思います。
- ・本日の発表について。活動内容も活動報告にしても素晴らしいもので、中学生らしくからぬしっかりしており、大変感心致しました。
- ・中学生の意見がよく伝わりました。
- ・積極的な意見が良かった。
- ・中学生の考え方がわかってとても良かったです。
- ・自分の中学生時代をふり返し、今時の中学生の自覚、責任感を頼もしく思いました。
- ・2グループとも、良く考えて発表できたと思います。問題を適切に提示し、それぞれの意見がはっきりと明確に伝わりました。ぜひ我々大人も応援していきたいです。

4. 工夫した方が良いと思う点等がありましたらお願いします。(原文のまま)

- ・スクールスタイルの席ではなく、口の字が良かった。
- ・学校関係者以外（直接的）の声が聞けることを期待した。
- ・ICT教育に力を入れている狛江市なので、発表もパワーポイント等のICT機器を利用して行ってもよかったのかなと思います。
- ・「中学生の居場所」「合同」ありきで話をしましたが、何故なのか？ということから話し合えば良かったかなと思います。
- ・アメリカンパンサーのテーマのとりあげ方（結びつけ）が薄い。基本的イメージを画いて対応した方がよい。
- ・まず、自分達の手で何でもいからやってみて下さい。
- ・実行化を前提にした場合、工夫も必要ですが、第一歩としては良いと思います。何のためにこれを実施するのかを明確にする。
- ・このような会が、生徒会活動に参加するような生徒たちから、もっと広い層

の生徒たちが参加するようになると良いと思いました。

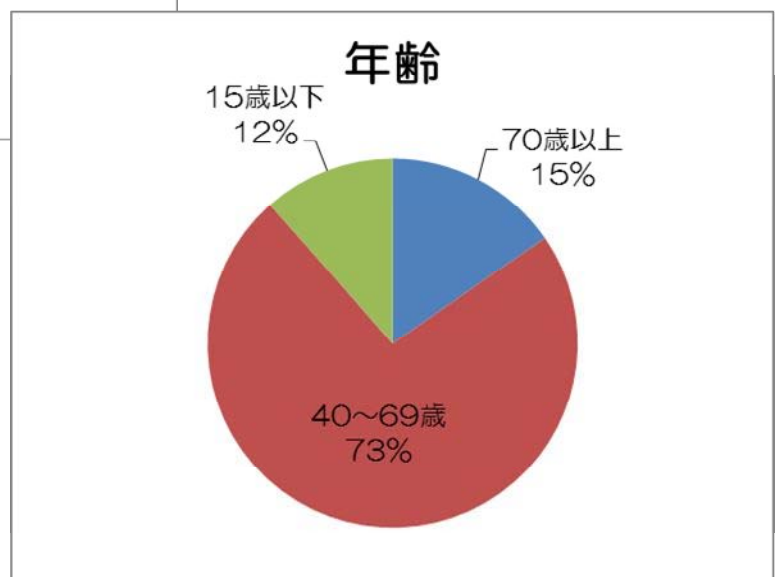
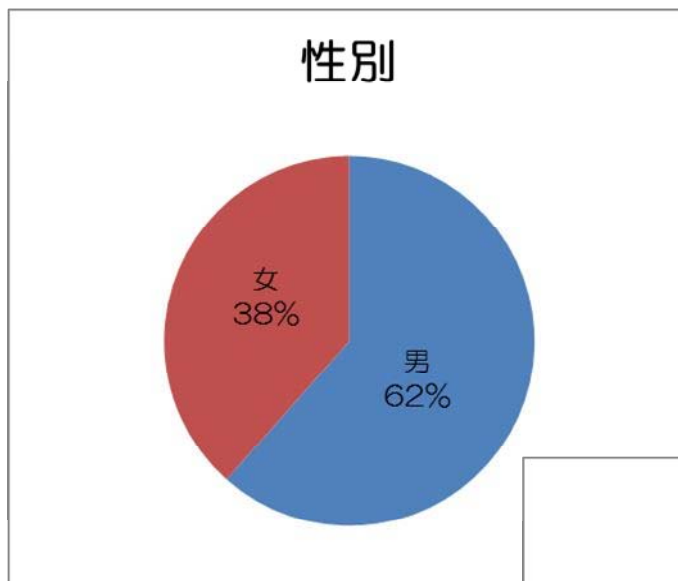
- 勉強会の内容に「受験」も含まれていますが、高校生から学校選びで気をつけることなどをきける chance もあるといいのでは！
- 模造紙も大きく字が書いてあり見やすかったです。
- 今日の報告会のその後について、実現のための具体的な会議等の案内があると良い。
- 3部屋分を1部屋にした会場だったので、後ろはやはり見づらいです。窓側を発表の場としたら、もう少し全体が見れたかな。プロジェクターの関係でしょうか。
- 実施方法をもう少し具体的に検討し発表してほしい。
- もっと学校の先生や生徒にも来てもらえるよう広報してもよかったのではと思います。
- 工夫というよりも、輪を広げていきましょう。

5. その他ご意見・ご要望などがありましたらお願いします。(原文のまま)

- 実現するために子供達が…とありましたが、忙しくて長つづきしないと思う。協力者（地域や学校）が必要と思うが、どうつなげて行くかだと思う。
※実現するために、どの部署が責任をもち、どの会が（ボランティア）協力するのか、サポーターの方も大変だったと思います。イベントについては四中学では無理でしょう。
- ファシリテーターの進行態度が課題であると感じた。わざわざ勉強がきらいなどと云う必要はない。自分の考えをもち、協議していくことも勉強であることを理解してほしい。「責任」を考えさせたい。2組めの発表でこのことばが出た。とてもうれしく感じた。
- 副市長出席のもとで行われているが、提案の実現に向けてどのようにしていくのか教えてほしい。
- 実現のため、市、学校の協力を得る。
- 四中学校合同勉強会は教える技術の競争をうながします。賛成です。
- 大人は何だかんだと口を出さずに、聞かれたらアドバイスをするという姿勢で温かく見守って欲しいと思います。
- 何かしら四中学校の交流を実現させてあげたいです。小さい市だからできる特徴になると思います。目的として、誰に対しての発表なのか、明確にすべきだと思います。
- 粕江を“ふるさと”とする子ども達です。粕江に対する愛郷精神が育まれるような催しになるとさらに良いでしょう。
- 対象は市内の中学校に通っている生徒なのではないでしょうか。
- ぜひ実現してほしい。市としても、そのサポートをぜひしてほしいです。今日は校長先生や議員の方もいらっしゃり、具体的にものごとを動かすのにとっても良い機会だと思います。
- 4つの学校の生徒が集まるのは大変だったと思います。事務局、学校関係者、お疲れ様でした。

- もっと多くの教育関係者に聴いて頂きたい（校長先生、副校長先生、生活指導主任、教諭主任、生徒会担当の先生等）。
- 2年ごとに開催されているこの「青少年会議報告会」、発表だけでなく、実際にとり入れられていくようにしていくことが大事だと思います。それは私たち議員や行政の役割でもあると思います。今後とも継続して取り組んでいけるといいですね。
- 今日の発表の内容がひとつでも実現できることを希望します。
- 今後もこの活動が行われます様をお願い致します。
- 今後の市政にも良い助言になると思います。
- 「こまえっしー」の発表でアンケートの作成を充分検討し、作成する事が大切。内容によっては方向性が変わってしまう。
- すばらしい会議に参加させて頂いたことで、子供がこれから進む方向になにか参考にしていけるのではないかと思います。
- 狛江市は小さな市です。小さいからこそ反映できることもあるのではないかと思います。多くの方がサポートすれば、実現可能ではないかと確信しています。

6. 回答していただいた方の性別・年齢



登録番号（刊行物番号）

H26－65

平成 26 年度青少年会議報告書

平成 27 年 2 月発行

発 行 狛江市

編 集 狛江市児童青少年部児童青少年課

住 所 狛江市和泉本町一丁目 1 番 5 号

電 話 03（3430）1111

頒布価格 1 0 0 円

印 刷 庁内印刷